

令和 7 年度

高等学校  
中堅教諭等資質向上研修

兵庫県教育委員会

# 目 次

|                                   | ページ   |
|-----------------------------------|-------|
| 1 高等学校中堅教諭等資質向上研修 実施要項            | 1～2   |
| 2 高等学校中堅教諭等資質向上研修 実施細則            | 3     |
| 3 令和7年度 兵庫県教職員研修計画                | 4     |
| 4 兵庫県教員資質向上指標                     | 5     |
| 5 高等学校中堅教諭等資質向上研修                 |       |
| 全体図                               | 6     |
| 1年間の流れ                            | 7     |
| 令和7年度校外研修講座一覧                     | 8～11  |
| 6 高等学校中堅教諭等資質向上研修                 |       |
| 研修計画調書 (様式1)                      | 12～14 |
| 教育課題研修希望調査 (様式2)                  | 15    |
| 研修計画書 (様式3)                       | 16～17 |
| 研修報告書 (様式4)                       | 18～19 |
| 研修報告調書 (様式5)                      | 20～22 |
| 7 高等学校中堅教諭等資質向上研修 研修内容            |       |
| (1) 共通研修                          | 23    |
| (2) 教科指導研修 国語                     | 24    |
| 地理歴史・公民                           | 25    |
| 数学                                | 26    |
| 理科                                | 27    |
| 保健体育                              | 28    |
| 芸術 (音楽)                           | 29    |
| 芸術 (美術)                           | 30    |
| 芸術 (書道)                           | 31    |
| 外国語 (英語)                          | 32    |
| 家庭                                | 33    |
| 情報                                | 34    |
| 農業・水産                             | 35    |
| 工業                                | 36    |
| 商業                                | 37    |
| 看護                                | 38    |
| 福祉                                | 39    |
| (3) 教育課題研修 神戸女子大学                 | 40    |
| 神戸親和大学                            | 41    |
| 武庫川女子大学                           | 42    |
| 関西学院大学                            | 43    |
| 兵庫教育大学                            | 44    |
| 甲南大学                              | 45    |
| 神出学園                              | 46    |
| JICA 関西                           | 47    |
| 県立但馬やまびこの郷                        | 48    |
| 兵庫教育大学                            |       |
| 教師の学びのサイクル                        | 49    |
| 県立総合教育センター                        | 50～52 |
| 8 高等学校中堅教諭等資質向上研修の実施に係る非常時の対応について | 53    |

# 高等学校中堅教諭等資質向上研修 実施要項

兵庫県教育委員会

## 1 目 的

中堅教諭等資質向上研修は、県立高等学校の教諭及び講師（任用の期限を附さない常勤講師）（以下、「教諭等」という）に対して、教育公務員特例法第 24 条の規定に基づく研修を実施するもので、個々の能力、適性、役割等に応じて、中堅教諭等としての職務を遂行する上で必要とされる資質の向上を図ることを目的とする。

## 2 主 催

兵庫県教育委員会

## 3 対象者

- (1) 在職期間（国立・公立・私立の教諭等として在職した期間も含む）が10年に達した県立高等学校の教諭等
- (2) 該当年度に中堅教諭等資質向上研修（旧10年経験者研修）を実施できなかった者

## 4 研修期間及び研修日数

- (1) 原則として、在職期間が10年に達した日から 1 年以内に中堅教諭等資質向上研修を開始することとする。
- (2) 実施期間は、原則として当該年度の 4 月 1 日から 3 月 31 日までの 1 年間とする。
- (3) 研修日数は、「校外研修」を10日程度、県立総合教育センター等において実施し、「校内研修」を20日程度、「校外研修」において修得した知識や経験を基に、原則として校内において実施する。

## 5 研修内容

兵庫県教員資質向上指標に基づき、次のとおりとする。

### (1) 校外研修

#### a 共通研修

協働性・同僚性、組織的対応力、自己管理能力・変革力等に関する研修

#### b 教科指導研修

授業実践力、授業改善力、組織的・体系的な学力向上、ICT 活用指導力向上等に関する研修

#### c 教育課題研修

生徒指導、人権教育、情報教育等、教育上の諸課題に関する選択研修

### (2) 校内研修

実践を通して行う、教科指導力、生徒指導力等、職務に応じた専門性の向上に関する研修

## 6 評価及び研修計画書の作成等

- (1) 校長は、研修の実施に当たり、事前（前年度又は 1 学期）に、当該の教諭等の研修希望等を参考として、各教諭等ごとの評価案・研修計画書案を作成し、県教育委員会に提出する。なお、研修計画書案の作成に当たっては、教頭等の意見も参考にするとともに、当該教諭等の意見を聴取するなど、研修が効果的なものとなるよう配慮する。

- (2) 県教育委員会は、校長より提出された評価案・研修計画書案について、必要な調整を行い、決定する。

#### 7 研修実施報告書等

校長は、研修終了後に、その成果を評価し、研修実施報告書を作成して県教育委員会に報告するとともに、事後の指導や研修に活用する。

#### 8 校内指導体制

- (1) 校長は、当該教諭等の研修実施に当たり、教頭等とも連携しながら必要な指導・助言に当たるものとする。
- (2) 校長は、当該教諭等が研修を実施するに当たり、授業等の校務に支障がないよう、また、学校全体として協同的な体制を確立するよう努めるものとする。

附 則

この要項は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和6年4月1日から施行する。

## 高等学校中堅教諭等資質向上研修実施細則

### 1 受講者決定の手順

- (1) 各県立高等学校長は、受講対象者調査票を取りまとめ、報告する。  
なお、該当者がいない場合は、「該当者なし」として、報告する。
- (2) 県立総合教育センター長は、上記報告をもとに調整の上、受講対象者及び受講場所・日時について決定し、関係高等学校長あて通知する。

### 2 受講の猶予

- (1) 当該年度に、産前・産後の特別休暇、育児休業、長期出張、長期療養、休職等の者については、次年度以降の受講対象者としてすることができる。
- (2) 校長は、学校運営上、受講の猶予が必要であると認める場合、県立総合教育センター長と協議することとする。
- (3) 上記(1)(2)の該当者については、校長が、受講対象者調査票の備考欄に休暇、長期出張等の内容・期間及び本年度の受講の可否について所見を記入する。

### 3 受講できない場合の取り扱い

- (1) 校務等の都合により所定の研修を受講できない場合は、校長が県立総合教育センター長あてに報告する。その後、別の研修への変更等の対応について、県立総合教育センター長が決定する。  
なお、休暇、長期出張等により、本研修を受講できない場合は、原則として次年度の研修を受講する。
- (2) 所定の研修をやむを得ず欠席、遅刻、早退する場合は、事前に管理職から高校教育研修課に電話連絡する。

### 4 旅費等について

- (1) 中堅教諭等資質向上研修の参加は、原則として日々帰校とする。
- (2) 中堅教諭等資質向上研修への参加旅費は別途令達するものとする。

### 5 オンライン研修について

校外研修を勤務場所においてオンラインで行うに当たり、校長は、「高等学校中堅教諭等資質向上研修実施要項」第8項の趣旨を踏まえて、高等学校中堅教諭等資質向上研修対象者の受講環境に配慮するものとする。

### 6 その他

- (1) この実施細則に定めるものの他、必要な事項については県立総合教育センター長が別途定める。
- (2) この実施細則に定める事項は、令和6年4月1日から施行する。

# 令和7年度 兵庫県教職員研修計画

|                |                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|----------------|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 基本方針           |                               | グローバル化をはじめICTやAI等の技術革新等、社会情勢の激しい変化が続く中、子どもたち一人一人が自ら「在りたい自分」や「在りたい社会」を描き、新たな価値を創造する力を身に付けていけるよう、「兵庫が育む ころ豊かで自立する人づくり」の基本理念のもと、「『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力」の育成に取り組んでいく。                                                                                                                                                                                                                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 種別             | 目標                            | <p>(経験年数) 1 2 3 5 10 15 20 25 30 35 (年目)</p> <p>〔スキマキャリア〕</p> <p>第1期 (採用～5年目) 実践的な指導力を伸ばす。</p> <p>第2期 (6年目～20年目) 職務に応じて専門性を伸ばす。</p> <p>第3期 (21年目以降) より高い力を身に付け後進の育成に生かす。</p>                                                                                                                                                                                                                         |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| I<br>年次研修・職務研修 | 経験年数や職務に応じて、必要な資質・能力の向上を図る。   | <p>〔年次研修〕</p> <p>A 初任者研修 B 2年次研修 C 3年次研修 D 5年次相当研修 E 中堅教諭等資質向上研修 F 15年次相当研修 G 20年次研修</p> <p>H 新任校長研修 I 校長研修 J ニューリーダー研修(新任教頭対象) K 教頭研修 L 主幹教諭研修</p> <p>M 養護教諭研修 N 栄養教諭研修 O 事務職員研修</p>                                                                                                                                                                                                                |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| II<br>担当者等研修   | 担当者対象の研修等を行い、各学校の課題対応力の向上を図る。 | <p>○キャリア教育担当研修 ○道徳教育研修 ○特別支援教育担当研修</p> <p>○人権教育担当研修 ○生徒指導担当研修 ○英語指導力向上研修</p> <p>○防災教育研修 ○カウンセリング・マインド研修 ○教務担当研修</p> <p>○保健担当研修 ○不登校担当研修 ○情報教育研修</p> <p>○新任特別支援学級担当研修 ○通級指導担当研修</p> <p>○特別支援教育エリアコーディネーター研修 ○特別支援教育コーディネーター研修</p> <p>※高校生の政治的教養を高める等の目的別研修や、学科に関する研修、スマートワークス～わたしを生かす働き方～研修等、本庁各課主催の研修を含む</p>                                                                                         |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| III<br>選択研修    | 教科、領域等の指導に必要な資質・能力の向上を図る。     | <p>〔校内リーダー養成研修〕</p> <p>A 危機管理に関する研修 B 学校組織マネジメントに関する研修</p> <p>〔専門研修〕</p> <p>C 教科指導に関する研修 D 生徒指導・心の教育に関する研修</p> <p>E 課題教育に関する研修 F 教育の情報化に関する研修</p> <p>G 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応に関する研修</p>                                                                                                                                                                                                              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| IV<br>その他の研修   | 学校や個々の教職員の課題に応じて、資質・能力の向上を図る。 | <p>A 市町組合教委研修会（市町組合教育委員会・教育研究所が開催する、地域課題・教科研修会等）</p> <p>B 校内研修（学校が開催する授業研究会・講習会、OJT等）</p> <p>C 自主研修（教科研究会等が開催する研修会、大学・教育機関が開催する研修会等）</p> <p>D サポート研修 講師派遣型（講師の派遣による校内研修・自主研修等への支援）<br/>オンライン型（動画コンテンツ等の配信による校内研修・自主研修等への支援）</p> <p>E ICT活用指導力ステップアッププログラム</p> <p>F 臨時的任用教員研修</p>                                                                                                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 配慮事項           |                               | <p>○全ての研修機会を通して、授業や校務における教職員のICT活用力(生成AIを含む)の向上を図る。</p> <p>○学校管理職は、教職員の研修ニーズや学校での役割、研修等に関する記録を踏まえ、研修の受講奨励等、資質向上に関する指導助言を行う。</p> <p>○各学校において教職員の実践的指導力を育てるため、効果的な校内研修を実施し、OJTの充実を図る。</p> <p>○学校が抱える様々な課題解決に向けて、学校の意思決定過程への女性教職員の参画や管理職の育成を図るための研修の充実および参加に向けた工夫に取り組む。</p> <p>○教職員としての高い倫理観の保持と児童生徒・保護者の一層の信頼確保に向け、不祥事防止に関する研修の充実を図る。</p> <p>○小中学校教職員等の研修については、県教委と市町組合教委が連携し、地域の教育課題を踏まえた研修を実施する。</p> |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

## 兵庫県教員資質向上指標

| 教員と求る素養      |                                                               |                                                               | 教員としての資質の向上に関する指標                                                                              | 教                                                                            | 養 | 栄 | 主 | 成 | キャリアステージ                                                                                           |     |     |               |     |     |           |     |     |   |
|--------------|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|---------------|-----|-----|-----------|-----|-----|---|
|              |                                                               |                                                               |                                                                                                |                                                                              |   |   |   |   | 【第1期】採用～5年目<br>実践的な指導力を伸ばす。<br>【第2期】6年目～20年目<br>職務に応じて専門性を伸ばす。<br>【第3期】21年目を以降より高い力を身に付け後進の育成に生かす。 |     |     |               |     |     |           |     |     |   |
|              |                                                               |                                                               |                                                                                                |                                                                              |   |   |   |   | 求められる資質                                                                                            |     |     | 重点的に研修に取り込む時期 |     |     | 位置付ける研修種別 |     |     |   |
|              |                                                               |                                                               |                                                                                                |                                                                              |   |   |   |   | 第1期                                                                                                | 第2期 | 第3期 | 第1期           | 第2期 | 第3期 | 第1期       | 第2期 | 第3期 |   |
| 分野           | 資質                                                            |                                                               |                                                                                                |                                                                              |   |   |   |   |                                                                                                    |     |     |               |     |     |           |     |     |   |
| 教育課題への取組     | 兵庫の教育課題への対応                                                   | 1                                                             | 地域の人的・物的資源を活用し、発達段階に応じて兵庫県型「体験教育」を実践することができる。                                                  |                                                                              | ○ | ○ | ○ |   |                                                                                                    | ☆   | ☆   | ☆             | ○   |     |           | ◻   | ≫   | ≡ |
|              |                                                               | 2                                                             | 国際社会で活躍する意欲や態度を育成するなど、グローバル化に対応した教育を実践することができる。                                                |                                                                              | ○ | ○ | ○ | ◇ | ☆                                                                                                  | ☆   | ☆   | ○             | ○   | ○   | ◻         | ◻   | ◻   |   |
|              |                                                               | 3                                                             | 伝統や文化を尊重し、ふるさと兵庫を愛する態度を養うことができる。                                                               |                                                                              | ○ | ○ | ○ |   | ☆                                                                                                  | ☆   | ☆   | ○             |     |     | ◻         | ≫   | ≡   |   |
|              |                                                               | 4                                                             | 「参画と協働が拓く兵庫の未来」等の指導事例集や副教材を活用し、児童生徒の政治的教養を高め、主体的に社会の形成に参画し協働しようとする態度を養うことができる。                 |                                                                              | ○ | ○ | ○ | ◇ | ☆                                                                                                  | ☆   | ☆   |               | ○   | ○   | ≫         | ◻   | ◻   |   |
|              |                                                               | 5                                                             | 阪神・淡路大震災の記憶が風化することを防ぐとともに、その経験と教訓を活かし、主体的に判断して実践する力、助け合いやボランティア精神等共生の心を育む「兵庫の防災教育」を推進することができる。 |                                                                              | ○ | ○ | ○ |   | ☆                                                                                                  | ☆   | ☆   | ○             |     |     | ◻         | ≫   | ≡   |   |
|              |                                                               | 6                                                             | 幼小中高大の新たな接続・連携に伴う変化に対応し、さらなる充実をめざした取組を行うことができる。                                                |                                                                              | ○ | ○ | ○ |   | ☆                                                                                                  | ☆   | ☆   |               | ○   | ○   | ≫         | ◻   | ◻   |   |
|              |                                                               | 7                                                             | 部活動の実施に当たっては、安全に配慮しながら生徒の自主性、協調性、責任感、連帯感などを育てることができる。<br>【中・高】                                 |                                                                              | ○ | ○ | ○ |   | ☆                                                                                                  | ☆   | ☆   | ○             |     |     | ◻         | ≫   | ≡   |   |
|              |                                                               | 8                                                             | 教科書及び「兵庫県道徳教育副読本」等を用いて、他者や自己との「対話」により、自己の生き方や人間としての生き方についてさらに考えを深める道徳の授業を実践できる。<br>【小・中】       |                                                                              | ○ | ○ | ○ | ◇ | ☆                                                                                                  | ☆   | ☆   | ○             | ○   | ○   | ◻         | ◻   | ◻   |   |
|              |                                                               | 9                                                             | 豊かなスポーツライフを継続する資質・能力の育成をめざし、児童生徒が主体的に体力・運動能力向上を図る態度を育てることができる。<br>【小・中高(保体)】                   |                                                                              | ○ |   |   | ◇ | ☆                                                                                                  | ☆   | ☆   | ○             |     |     | ◻         | ◻   | ◻   |   |
|              | 生涯必要となる配慮や児童支援                                                | 10                                                            | インクルーシブ教育システムの理念を理解し、全ての児童生徒等に分かりやすいユニバーサルな授業づくりや互いに認め支え合う集団づくりができる。                           |                                                                              | ○ | ○ | ○ | ◇ | ☆                                                                                                  | ☆   | ☆   | ○             | ○   | ○   | ◻         | ◻   | ◻   |   |
|              |                                                               | 11                                                            | 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。                                            |                                                                              | ○ | ○ | ○ | ◇ | ☆                                                                                                  | ☆   | ☆   | ○             |     |     | ◻         | ◻   | ◻   |   |
|              |                                                               | 12                                                            | 保護者や関係機関と連携を図りながら、個別的教育支援計画や個別の指導計画を作成し、児童生徒等の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うことができる。                        |                                                                              | ○ | ○ | ○ | ◇ | ☆                                                                                                  | ☆   | ☆   | ○             | ○   |     | ◻         | ◻   | ◻   |   |
|              |                                                               | ディジタルや情報活用、教育                                                 | 13                                                                                             | Society5.0時代を生きていく児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力を育成するための指導を行うことができる。                   |   | ○ | ○ | ○ | ◇                                                                                                  | ☆   | ☆   | ☆             | ○   |     |           | ◻   | ◻   | ◻ |
|              |                                                               |                                                               | 14                                                                                             | 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。                                             |   | ○ | ○ | ○ | ◇                                                                                                  | ☆   | ☆   | ☆             | ○   |     |           | ◻   | ◻   | ◻ |
|              |                                                               |                                                               | 15                                                                                             | 各校の情報セキュリティ実施手順等に基づき、校内の情報を適切に管理し、取り扱うことができる。                                |   | ○ | ○ | ○ | ◎                                                                                                  | ◇   | ☆   | ☆             | ☆   |     | ○         | ◻   | ◻   | ◻ |
|              |                                                               |                                                               | 16                                                                                             | 学習履歴等のデータを活用し、児童生徒の学習の改善を図ることができる。                                           |   | ○ | ○ | ○ | ◇                                                                                                  | ☆   | ☆   | ☆             |     | ○   |           | ◻   | ◻   | ≡ |
| 授業改革実践力・学習指導 | 17                                                            | 学校教育目標や児童生徒の実態を踏まえた年間指導計画を作成し、計画的に授業を進めることができる。               |                                                                                                | ○                                                                            |   |   | ◇ | ☆ | ☆                                                                                                  | ☆   | ○   |               |     | ◻   | ◻         | ≡   |     |   |
|              | 18                                                            | 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。                    |                                                                                                | ○                                                                            |   |   | ◇ | ☆ | ☆                                                                                                  | ☆   | ○   |               |     | ◻   | ◻         | ◻   |     |   |
| 探究実力・力       | 19                                                            | 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。 |                                                                                                | ○                                                                            |   |   | ◇ | ☆ | ☆                                                                                                  | ☆   | ○   | ○             |     | ◻   | ◻         | ◻   |     |   |
|              | 20                                                            | 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。                |                                                                                                | ○                                                                            |   |   | ◇ | ☆ | ☆                                                                                                  | ☆   | ○   |               |     | ◻   | ◻         | ◻   |     |   |
|              | 21                                                            | 児童生徒や地域の実態に応じた教材を開発するなど、効果的な教科カリキュラムを編成することができる。              |                                                                                                | ○                                                                            |   |   | ◇ | ☆ | ☆                                                                                                  | ☆   |     | ○             |     | ≫   | ◻         | ≡   |     |   |
|              | 22                                                            | 全国学力・学習状況調査結果等各校の課題を分析し、組織的・体系的な学力向上の取組ができる。                  |                                                                                                | ○                                                                            |   |   | ◎ |   | ☆                                                                                                  | ☆   |     | ○             |     | ≫   | ◻         | ◻   |     |   |
| 学級・HR経営、生徒指導 | 集団を高める力                                                       | 23                                                            | 自他の生命を尊重し、多様性を認め、様々な人権課題を解決しようとする実践的な行動力を育成することができる。                                           |                                                                              | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◇                                                                                                  | ☆   | ☆   | ☆             | ○   |     |           | ◻   | ◻   | ◻ |
|              |                                                               | 24                                                            | 体験活動や実践活動を通して、児童生徒の道徳性の育成に努めている。                                                               |                                                                              | ○ | ○ | ○ | ◇ | ☆                                                                                                  | ☆   | ☆   | ○             |     |     | ◻         | ≫   | ≡   |   |
|              |                                                               | 25                                                            | いじめ、不登校等の教育課題の緊急性や重要性を理解し、他の教職員や関係機関と連携しながらその予防・解決に取り組むことができる。                                 |                                                                              | ○ |   |   | ◎ | ◇                                                                                                  | ☆   | ☆   | ☆             | ○   | ○   | ◻         | ◻   | ◻   |   |
|              |                                                               | 26                                                            | 学校教育目標の実現に向け、学級経営案やホームルーム計画の立案・実行・改善ができ、児童生徒が安心して過ごせる学級づくりに取り組むことができる。                         |                                                                              | ○ |   |   | ◇ | ☆                                                                                                  | ☆   | ☆   | ○             |     |     | ◻         | ◻   | ◻   |   |
|              | 一人一人の能力を高める力                                                  | 27                                                            | 児童生徒との適切な距離を保ちながら、生活背景や内面の理解に努め、カウンセリングマインドをもって、児童生徒と接することができる。                                |                                                                              | ○ | ○ | ○ | ◇ | ☆                                                                                                  | ☆   | ☆   | ○             |     |     | ◻         | ◻   | ◻   |   |
|              |                                                               | 28                                                            | 社会的・職業的自立の基盤となる能力や態度の育成等を通して、児童生徒のキャリア発達を促すことができる。                                             |                                                                              | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◇                                                                                                  | ☆   | ☆   | ☆             |     | ○   | ≫         | ◻   | ◻   |   |
|              |                                                               | 29                                                            | 児童生徒が自らのよさや可能性を認識し、多様な他者と協働する力を身に付けられるよう指導することができる。                                            |                                                                              | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◇                                                                                                  | ☆   | ☆   | ☆             | ○   | ○   | ◻         | ◻   | ◻   |   |
|              |                                                               | 30                                                            | 児童生徒の健康課題を的確に捉え、それを解決するための保健教育や保健指導ができる。                                                       |                                                                              | ○ | ○ | ○ | ◇ | ☆                                                                                                  | ☆   | ☆   | ○             |     |     | ◻         | ◻   | ◻   |   |
|              |                                                               | 31                                                            | 偏食傾向や肥満傾向、食物アレルギー等の健康課題を抱える児童生徒に対し、個別の相談指導ができる。                                                |                                                                              | ○ | ○ | ○ | ◇ | ☆                                                                                                  | ☆   | ☆   | ○             | ○   |     | ◻         | ◻   | ◻   |   |
|              |                                                               | チームで職務を担う体制づくり                                                | 32                                                                                             | 「学校業務改善に関するガイドライン」に基づき、児童生徒と向き合う時間の確保と、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、計画的に仕事を進めることができる。 |   | ○ | ○ | ○ | ◎                                                                                                  | ◇   | ☆   | ☆             | ☆   | ○   | ○         | ◻   | ◻   | ◻ |
| 33           | 児童生徒への指導等に関して、同僚・先輩や管理職等に相談し、指導に生かすことができる。                    |                                                               | ○                                                                                              | ○                                                                            | ○ | ◇ | ☆ | ☆ | ☆                                                                                                  | ○   |     |               | ◻   | ≫   | ≡         |     |     |   |
| 34           | 豊富な知識や経験を基に、若手教員に対し個性や特性に応じて支援するとともに、同僚と協働して学校の課題に取り組むことができる。 |                                                               | ○                                                                                              | ○                                                                            | ○ | ◎ |   | ☆ | ☆                                                                                                  |     | ○   |               | ≫   | ◻   | ≡         |     |     |   |
| 35           | 課題解決に向け、校内の共通理解を図り、家庭・地域・関係機関等と連携して取り組むことができる。                |                                                               | ○                                                                                              | ○                                                                            | ○ | ◎ | ◇ | ☆ | ☆                                                                                                  | ☆   |     | ○             | ≫   | ◻   | ◻         |     |     |   |
| 36           | 学校教育目標の達成に向け、主体的、積極的に学校運営に参画することができる。                         |                                                               | ○                                                                                              | ○                                                                            | ○ | ◎ |   | ☆ | ☆                                                                                                  | ☆   |     | ○             | ≫   | ◻   | ◻         |     |     |   |
| 37           | 校内における自分の役割を認識し、校務分掌を的確かつ効率的に遂行できる。                           |                                                               | ○                                                                                              | ○                                                                            | ○ | ◇ | ☆ | ☆ | ☆                                                                                                  | ○   |     |               | ◻   | ◻   | ≡         |     |     |   |
| 組織的対応力       | 38                                                            | 家庭や地域社会と連携し、開かれた学校づくりに努めている。                                  |                                                                                                | ○                                                                            | ○ | ○ | ◎ | ◇ | ☆                                                                                                  | ☆   | ☆   |               | ○   | ≫   | ◻         | ◻   |     |   |
|              | 39                                                            | 学校の危機管理マニュアルを理解し、事件や事故、トラブルに適切に対応することができる。                    |                                                                                                | ○                                                                            | ○ | ○ | ◎ | ◇ | ☆                                                                                                  | ☆   | ☆   | ○             | ○   | ○   | ◻         | ◻   | ◻   |   |
|              | 40                                                            | 学校教育目標や学校保健目標の具現化を図るため、学校医、関係機関等と連携した保健室経営ができる。               |                                                                                                |                                                                              | ○ |   | ◇ |   | ☆                                                                                                  | ☆   | ☆   | ○             |     |     | ◻         | ◻   | ◻   |   |
|              | 41                                                            | 栄養管理や衛生管理等の学校給食の管理と、食に関する指導との一体的な展開を行うことができる。                 |                                                                                                |                                                                              |   | ○ | ◇ | ☆ | ☆                                                                                                  | ☆   | ○   |               |     | ◻   | ◻         | ◻   |     |   |
|              | 資質を高める                                                        | 42                                                            | 日頃から、ストレスマネジメントに努めるとともに、教員として自覚ある行動をとることができる。                                                  |                                                                              | ○ | ○ | ○ | ◇ | ☆                                                                                                  | ☆   | ☆   | ○             |     |     | ◻         | ≫   | ≡   |   |
|              |                                                               | 43                                                            | 適切な言動を心がけ、児童生徒や保護者等からの信頼確保に努めている。                                                              |                                                                              | ○ | ○ | ○ | ◇ | ☆                                                                                                  | ☆   | ☆   | ○             |     |     | ◻         | ≫   | ≡   |   |
|              |                                                               | 44                                                            | 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。                                              |                                                                              | ○ | ○ | ○ | ◇ | ☆                                                                                                  | ☆   | ☆   | ○             |     |     | ◻         | ≫   | ≡   |   |
|              |                                                               | 45                                                            | 日々の実践等を振り返り、主体的に自らの教育活動の工夫・改善に努めている。                                                           |                                                                              | ○ | ○ | ○ | ◇ | ☆                                                                                                  | ☆   | ☆   | ○             |     |     | ◻         | ≫   | ≡   |   |

※2 主幹教諭の◎は、主幹教諭に、より求められる指標である

※3 養成段階の◇は、大学等で身に付けておきたい基礎的、基本的な知識や技能の指標である。

※4 求められる資質の☆は、その時期に求められる資質である。

※5 重点的に研修に取り組む時期の○は、その資質を身に付けるために重点的に研修を行う時期である。

※6 【 】は、対象とする校種・特別支援学校の学部や教科である。

➤ 年次研修・職務研修、担当者研修

 選択研修

校內研修・OJT等

## 高等学校 中堅教諭等資質向上研修

－ 全体図 －

### 校外研修(10日)

共通研修(3日) 全員が受講する。 ※うち1日分は勤務場所におけるオンライン研修

#### 県立総合教育センター

- ・高等学校教育の現状と課題 ・教員の学びのサイクル ・教育公務員の職務 ・教員としての自己管理
- ・多様な生徒の自立と社会参加をめざすキャリア教育 ・学校におけるこれからの役割 等

教科指導研修(4日) 教科別に全員が指定された研修を受講する。

#### 県立総合教育センター 他

- ・授業研究・授業改善の視点 ・主体的・対話的で深い学びの実現 ・ICTの効果的活用
- ・教科の専門性向上及び重点課題 等

教育課題研修(3日)

各自の能力・適性や勤務校での役割等に応じて、職務を遂行する上で必要とする資質・能力を高めるための研修を選択して受講する。

※うち1日は県立総合教育センターにおける研修、2日は県内の大学・教育施設における研修

#### 県立総合教育センター、県内の大学・教育施設 他

- ・生徒指導  
教育相談、生徒理解、学級経営、いじめ・不登校問題への対応、心の危機対応、ストレスマネジメント 等
- ・特別支援教育 ・人権教育 ・防災教育 ・キャリア教育 ・教育の情報化 ・グローバル教育
- ・リーダーシップ ・総合的な探究の時間 ・学校組織マネジメント 等

### 校内研修(20日)

合計 20 日、校外研修において修得した知識や経験を基に、原則として校内において主体的に計画・実施する。

|   | 研 修 項 目                                                                           | 日 数   |
|---|-----------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 1 | 教科指導 実地研修Ⅰ ー教科指導研修(校外研修)での学びを生かした授業研究ー<br>(例) 公開授業と授業研究会の準備・実施                    | 5～7 日 |
| 2 | 教科指導 実地研修Ⅱ ー各自が設定したテーマの実現に向けた授業改善ー<br>(例) 主体的・対話的で深い学び、ICTの効果的活用、評価方法の改善、探究的な学習 等 | 5～7 日 |
| 3 | 生徒指導 実地研修 ー生徒指導上の課題への組織的対応ー<br>(例) いじめ・不登校の予防や対応、多様な生徒への対応等の研究・取組                 | 2～5 日 |
| 4 | 職務に応じた専門性向上研修 ー校務分掌に関連する能力の向上、課題解決ー<br>(例) 避難訓練の企画・運営、校内研修会の企画・運営等の取組 ※教科指導を除く    | 2～5 日 |

※1～4については、研修項目に該当する県立総合教育センターの選択研修の受講をあててもよい。

ただし、中堅教諭等資質向上研修の校外研修(教科指導研修、教育課題研修)として受講する講座は除く。

※1については、教科指導に関する研究会(高等学校教育研究会研究発表大会等)等への参加をあててもよい。

※2～4については、NITS(独立行政法人教職員支援機構)の校内研修シリーズ(動画)の視聴をあててもよい。

※4については、県教育委員会が実施する職務研修(担当者研修)への出席をあててもよい。

ー 1 年間の流れー

| 日程  | 提出書類等                                                                                                   | 校外研修                                                                                            | 校内研修                                                                                                     |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3月  | 3月27日(木)<br>受講対象者調査票送付                                                                                  |                                                                                                 |                                                                                                          |
| 4月  | 4月4日(金)<br>受講対象者調査票提出締切                                                                                 | 4月16日(水)<br>受講対象者決定通知送付                                                                         |                                                                                                          |
|     | 4月16日(水)<br>①研修計画調書 (様式1)<br>②令和7年度高等学校中堅教諭等資質向上研修 冊子<br>を当総合教育センターWeb サイト掲載                            | 4月17日(木)～4月25日(金)<br>共通研修第1回 <VOD研修><br>オリエンテーション                                               |                                                                                                          |
|     | 4月25日(金) 提出締切<br>①研修計画調書 (様式1)                                                                          | 4月28日(月)<br>共通研修第1回<集合研修>                                                                       |                                                                                                          |
| 5月  | 5月20日(火)予定<br>③教育課題研修希望調査 (様式2)<br>④研修計画書 (様式3)<br>⑤研修報告書 (様式4)<br>⑥研修報告調書 (様式5)<br>を当総合教育センターWeb サイト掲載 | 5月7日(水)～<br>『令和7年度 教職員研修のしおり』の p79 を参照し、教科指導研修に該当する選択研修講座、及び教育課題研修(1日分)の選択研修講座の受講申込を各自で行ってください。 |                                                                                                          |
|     | 5月26日(月)提出締切<br>②教育課題研修希望調査 (様式2)                                                                       | 5月20日(火)～30日(金)<br>共通研修第1回<br><VOD研修><br>高校教育課による講義                                             | 教育課題研修開始                                                                                                 |
| 6月  | 6月6日(金) 課題提出締切<br>共通研修第1回<VOD研修>                                                                        | 6月2日(月)～9日(月)<br>共通研修第2回 <VOD研修>                                                                | 教育課題研修<br>6月中旬～(選択3日)<br>・生徒指導研修<br>・グローバル教育<br>・人権教育<br>・防災教育<br>・特別支援教育<br>・キャリア教育<br>・情報教育<br>・心の教育 等 |
|     | 6月9日(月)予定<br>教育課題研修(大学等の2日分)決定通知                                                                        | 6月10日(火)<br>共通研修第2回 <集合研修>                                                                      | 【県内の大学等・<br>県立総合教育センター】                                                                                  |
|     | 6月16日(月) 課題提出締切<br>共通研修第2回<VOD研修>                                                                       | 6月30日(月)、<br>7月4日(金)<br>教科指導研修①                                                                 | 1日目<br>月 日( )                                                                                            |
|     | 6月20日(金) 提出締切<br>③研修計画書 (様式3)                                                                           | 8月6日(水)、7日(木)<br>教科指導研修②                                                                        | 2日目<br>月 日( )                                                                                            |
| 7月  |                                                                                                         | 9月12日(金)、16日(火)<br>共通研修第3回                                                                      | 3日目<br>月 日( )                                                                                            |
| 8月  | 教科指導研修②～④については、各教科で実施日程、実施場所等が異なります。また、教科指導研修として選択研修の受講が必要な教科があります。各教科の実施日程等は、本冊子 p24～p39 を確認してください。    | 10月6日(月)、7日(火)<br>教科指導研修③                                                                       | ※県内の大学・教育施設での研修(本冊子p9に掲載)を2日。当総合教育センターが実施する選択研修(本冊子p10、p11に掲載)を1日。                                       |
| 9月  |                                                                                                         | 11月4日(火)、5日(水)<br>教科指導研修④                                                                       |                                                                                                          |
| 10月 |                                                                                                         |                                                                                                 |                                                                                                          |
| 11月 | 選択研修を受講する場合は、『令和7年度 教職員研修のしおり』p79 を参照し、各自で受講申込を行ってください。                                                 |                                                                                                 |                                                                                                          |
| 12月 |                                                                                                         |                                                                                                 |                                                                                                          |
| 1月  |                                                                                                         |                                                                                                 |                                                                                                          |
| 2月  | 2月25日(水)提出締切<br>④研修報告書 (様式4)<br>⑤研修報告調書 (様式5)                                                           |                                                                                                 |                                                                                                          |

校内研修  
実施(20日)

－ 令和7年度 校外研修 講座一覧 －

1 共通研修（3日）

| 回   | 期 日                                | 研 修 内 容                                            | 研修形態             | 実施場所           | 指標番号               |
|-----|------------------------------------|----------------------------------------------------|------------------|----------------|--------------------|
| 第1回 | 4/17(木)<br>～<br>4/25(金)            | オリエンテーション                                          | オンライン研修<br>(VOD) | 各勤務場所          | 2,13,16,<br>25,38  |
|     | 5/20(火)<br>～<br>5/30(金)            | 講 義：高等学校教育の現状と課題                                   |                  |                |                    |
|     | 4/28<br>(月)                        | 講 義：教員の学びのサイクル①                                    | 集合               | 県立総合教育<br>センター | 37,44,45           |
|     |                                    | 演習・協議：各自の能力・適性等の評価と研修課題の設定                         |                  |                | 34,35,37,<br>44,45 |
| 第2回 | 6/2(月)<br>～<br>6/9(月)              | 講 義：教育公務員の職務                                       | オンライン研修<br>(VOD) | 各勤務場所          | 32,34,36<br>38,43  |
|     | 6/10<br>(火)<br>午後                  | 講義・演習・協議：教員としての自己管理<br>(アンガーマネジメントの理論と実践)          | 集合               | 県立総合教育<br>センター | 27,34,37,<br>42,43 |
|     |                                    | 講 義・演 習：多様な生徒の自立と社会参加をめざす<br>キャリア教育（特別支援教育の視点から学ぶ） |                  |                | 6,10,11,<br>12,19  |
| 第3回 | 9/12<br>(金)<br>または、<br>9/16<br>(火) | 演習・協議：学校におけるこれからの役割<br>(ミドルリーダーとして活躍するために)         | 集合               | 県立総合教育<br>センター | 34,35,<br>36,37    |
|     |                                    | 演習・協議：研修の評価とキャリアプラン                                |                  |                | 34,35,37,<br>44,45 |
|     |                                    | 講 義：教員の学びのサイクル②                                    |                  |                | 37,44,45           |

2 教科指導研修（4日）※各教科の詳細については、本冊子 p 24～p 39 を参照

|                      | 教科指導研修①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 教科指導研修②                 | 教科指導研修③                  | 教科指導研修④                   |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|--------------------------|---------------------------|
| 国語・地公<br>数学・理科<br>英語 | 6/30 (月) または、<br>7/4 (金)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 8/6 (水) または、<br>8/7 (木) | 10/6 (月) または<br>10/7 (火) | 11/4 (火) または<br>11/5 (水)  |
| 保健体育                 | 6/30 (月)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 8/6 (水)                 | 8/7 (木)                  | 10/6 (月)                  |
| 音楽                   | 6/30 (月)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 7/28 (月)<br>芸術科(音楽)教育講座 | 8/6 (水)                  | 教育の情報化                    |
| 美術                   | 6/30 (月)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 8/6 (水)                 | 8/8 (金)<br>芸術科(美術)教育講座   | 教育の情報化                    |
| 書道                   | 6/30 (月)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 7/17 (木)<br>芸術科(書道)教育講座 | 8/6 (水)                  | 教育の情報化                    |
| 家庭                   | 7/4 (金)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 7/25 (金)<br>家庭科教育講座     | 8/7 (木)                  | 教育の情報化                    |
| 情報                   | 6/30 (月)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 8/7 (木)<br>情報科教育講座B     | 10/6 (月)                 | 11/4 (火)                  |
| 農業・水産                | 6/30 (月)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 8/4 (月)<br>農業科・水産科教育講座A | 8/6 (水)                  | 10/16 (木)<br>農業科・水産科教育講座B |
| 工業                   | 7/4 (金)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 8/7 (木)                 | 10/27 (月)<br>工業科教育講座A    | 12月上旬                     |
| 商業                   | 7/4 (金)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 8月4日 (月)<br>商業科教育講座A    | 10月下旬<br>商業科教育講座B        | 10/29 (水)<br>情報科教育講座A     |
| 看護                   | 6/30 (月)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 8/6 (水)                 | 9/19 (金)<br>看護科教育講座      | 教育の情報化                    |
| 福祉                   | 6/30 (月)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 8/6 (水)                 | 9/9 (火)<br>福祉科教育講座       | 教育の情報化                    |
| 備考                   | ※ 網掛の各教科の「教育講座」、および「教育の情報化」は、別途、教職員研修管理システムより受講<br>申込が必要です。「教職員研修のしおり」p 79 を参照し、各自で申込を行ってください。<br>※ 工業（教科指導研修④）は(高)工業科教育講座Bと同日開催です。（受講申し込み不要）<br>※ 音楽・美術・書道・家庭・看護・福祉の「教育の情報化」選択研修講座について<br>・生成AI の利活用講座<br>・情報セキュリティ講座<br>・Google Workspace 基礎講座<br>・Office365 基礎講座<br>・情報モラル教育講座<br>・メディア・リテラシー教育講座<br>・Google Workspace 実践講座<br>・Office365 実践講座<br>のいずれか1つの講座を選択 |                         |                          |                           |

### 3 教育課題研修（選択3日）

各自の適性・能力や勤務校での役割等に応じて、職務を遂行する上で必要とする資質・能力を高めるための研修を次の日程から選択して参加します。

人数制限があるため、番号111～181については（様式2）にて希望調査を実施します。

※大学・県内教育機関で実施される研修（111～181の中から2つ選択）

| 番号  | 期 日                | 実施場所                       | 研 修 内 容                                                                                 | 分 野              | 指標番号                       |
|-----|--------------------|----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------------|----------------------------|
| 111 | 8/28<br>(木)        | 神戸女子大学                     | 「令和の時代に求められる生徒指導」<br>「困難課題と新たな学校づくり」<br>「生徒指導と危機対応」                                     | 生徒指導             | 25,26<br>39,45             |
| 112 | 8/29<br>(金)        | 神戸女子大学                     | 「教育課程と生徒指導」<br>「支援ニーズの理解と進路・生徒指導」<br>「多様な子ども一人一人の学びを引き出す授業」                             | 生徒指導<br>特別支援教育   | 6,10,<br>11,18,19<br>27,29 |
| 121 | 8/4<br>(月)         | 神戸親和大学<br>(県立総合教育<br>センター) | 「生徒理解に基づく生徒指導の在り方」<br>「様々な生徒指導案件と対応事例」                                                  | 生徒指導             | 25,26<br>27,35<br>43       |
| 122 | 8/5<br>(火)         | 神戸親和大学<br>(県立総合教育<br>センター) | 「生徒指導と教育相談」<br>「重篤な事案にならないための対応力とは」                                                     | 生徒指導             | 25,26<br>27,33,35<br>39,43 |
| 131 | 8/1(金)～<br>8/29(金) | 武庫川女子大学<br>(勤務場所VOD)       | 「学校文化・生徒文化論から生徒指導を考える－イギリスとの対比を軸に」<br>「生徒指導と授業づくり・・・3つのテーマに即して」<br>※オンライン(VOD)勤務場所で開催   | 生徒指導             | 12,24<br>26,27,28          |
| 132 | 8/1(金)～<br>8/29(金) | 武庫川女子大学<br>(勤務場所VOD)       | 「多様性と自己理解」<br>「神経発達症の理解と支援のブレークスルーを目指して」<br>※オンライン(VOD)勤務場所で開催                          | 生徒指導             | 8,21,28                    |
| 141 | 8/25<br>(月)        | 関西学院<br>大学                 | 「『よい子』へのまなざしと教育相談」<br>「子どもの現在と生徒指導」<br>「グループワーク」                                        | 生徒指導             | 25,26<br>27,43             |
| 142 | 8/26<br>(火)        | 関西学院<br>大学                 | 「学級経営と生徒指導」<br>「生徒指導とコミュニケーション－こころを心でー」<br>「グループワーク」                                    | 生徒指導             | 25,26<br>27                |
| 151 | 7/25<br>(金)        | 兵庫教育<br>大学                 | 「ポジティブ心理学から考える発達支持的生徒指導－強み、キャリア、ウェルビーイング－」                                              | 生徒指導             | 10,11<br>33,35             |
| 152 | 8/18<br>(月)        | 兵庫教育<br>大学                 | 「教師のためのストレスマネジメント」                                                                      | 生徒指導             | 42                         |
| 161 | 8/25<br>(月)        | 甲南大学                       | 「不登校の現状と具体的な対応について」<br>「脳科学の知見からの生徒理解と生徒指導」<br>「いじめを防止するための社会心理学」                       | 生徒指導             | 23,24,25                   |
| 162 | 8/26<br>(火)        | 甲南大学                       | 「学校におけるいじめに対する具体的な対応について」<br>「教育相談としての7分面談について」<br>「通常学級での発達支援、その理解と対応」                 | 生徒指導             | 7,23,25,<br>43             |
| 171 | 8/8<br>(金)         | 県立<br>神出学園                 | 「不登校の子どもたちの理解と支援」<br>「不登校の子どもたちの理解と支援について」(仮)<br>「県立神出学園の不登校支援」(仮)<br>「神出学園の生活で得たもの」(仮) | 生徒指導・<br>カウンセリング | 6,10,11<br>12,27           |
| 172 | 8/22<br>(金)        | JICA 関西                    | 「JICAの開発教育支援事業の活用」<br>「地球市民(グローバル・シティズン)を育む教育とは」等                                       | グローバル<br>教育      | 2,3                        |
| 173 | 10/20<br>(月)       | 県立但馬<br>やまびこの郷             | 「すべての子どもに居場所のある学級づくり～不登校未然防止のために～」(仮)                                                   | 生徒指導・<br>不登校     | 6,12,25<br>26,27           |
| 181 | 8/8<br>(金)         | 兵庫教育<br>大学                 | 「教育実践の振り返り」<br>「教師の学びのサイクル」の確立に向けて                                                      | 教師の学びの<br>サイクル   | 14,17<br>20,21<br>28,45    |

※県立総合教育センターで実施される研修（201～601の中から1つ選択し、各自で受講申込み）

| 番号       | 期 日                | 実施場所            | 研 修 内 容                                                     | 分 野                 | 指標番号     |
|----------|--------------------|-----------------|-------------------------------------------------------------|---------------------|----------|
| 201      | 7/10<br>(木)        | 県立総合教育<br>センター  | 教職員研修 選択研修【III A1101】<br>学校における危機管理講座                       | 危機管理                | 37,39,43 |
| 211      | 7/8 (火)            | 県立総合教育<br>センター  | 教職員研修 選択研修【III B1303】<br>学校組織活性化における教員の在り方講座                | 教育経営                | 34,36,37 |
| 221      | 7/30<br>(水)        | 県立総合教育<br>センター  | 教職員研修 選択研修【III C1323】<br>(高)生徒の探究的な学びを実現する授業づくり講座           | 探究学習                | 18,19,21 |
| 231      | 7/3(木)～<br>7/16(水) | 勤務場所<br>(VOD)   | 教職員研修 選択研修【III D1501】<br>子どもを育てる生徒指導講座 (VOD 研修)             | 生徒指導                | 25,27    |
| 241      | 7/22 (火)           | 県立総合教育<br>センター  | 教職員研修 選択研修【III D1502】<br>いじめを生まない学級づくり講座                    | 生徒指導                | 25,26    |
| 251      | 8/20<br>(水)        | 県立総合教育<br>センター  | 教職員研修 選択研修【III D1503】<br>発達障害の可能性のある児童生徒といじめ問題講座            | 生徒指導                | 25,26    |
| 261      | 7/7<br>(月)         | 県立総合教育<br>センター  | 教職員研修 選択研修【III D1504】<br>不登校傾向のある児童生徒への理解と支援講座              | 生徒指導                | 25,27    |
| 271      | 10/23<br>(木)       | 県立総合教育<br>センター  | 教職員研修 選択研修【III D1505】<br>不登校児童生徒支援と困難課題対応的生徒指導講座            | 生徒指導                | 25,27    |
| 281      | 8/8<br>(金)         | 県立総合教育<br>センター  | 教職員研修 選択研修【III D1506】<br>児童生徒への自殺予防教育講座                     | 心の教育                | 23,25    |
| 291      | 11/17<br>(月)       | 県立総合教育<br>センター  | 教職員研修 選択研修【III D1507】<br>被害児童生徒への理解と支援講座                    | 心の教育                | 25,35    |
| 301      | 6/23<br>(月)        | 県立総合教育<br>センター  | 教職員研修 選択研修【III E1301】<br>(高)キャリア教育推進講座                      | キャリア教育              | 6,28,29  |
| 311      | 11/6<br>(木)        | 県立総合教育<br>センター  | 教職員研修 選択研修【III E1102】<br>人権教育講座                             | 人権教育                | 17,23,25 |
| 321      | 7/8<br>(火)         | 県立総合教育<br>センター  | 教職員研修 選択研修【III E1103】<br>震災に学ぶ防災教育講座                        | 防災教育                | 5,39     |
| 331      | 10/16<br>(木)       | 芸術文化観光<br>専門職大学 | 教職員研修 選択研修【III E1104】<br>演劇で学ぶコミュニケーション能力育成講座               | コミュニ<br>ケーション<br>能力 | 17,19,26 |
| 332      | 1/22<br>(木)        | 県立総合教育<br>センター  |                                                             |                     |          |
| 341<br>★ | 10/23<br>(木)       | 県立総合教育<br>センター  | 教職員研修 選択研修【III F1401】<br>教員のための ICT 基礎講座                    | 情報教育                | 14,44    |
| 351<br>★ | 9/11<br>(木)        | 県立総合教育<br>センター  | 教職員研修 選択研修【III F1402】<br>先端技術体験講座（3D プリンタ、ドローン、VR ゴー<br>グル） | 情報教育                | 14,44    |
| 352<br>★ | 10/2<br>(木)        |                 |                                                             |                     |          |
| 361<br>★ | 11/6<br>(木)        | 県立総合教育<br>センター  | 教職員研修 選択研修【III F1403】<br>先端技術活用講座—STEAM 教育の推進（3D プリンタ）—     | 情報教育                | 13,14,44 |
| 371<br>★ | 11/13<br>(木)       | 県立総合教育<br>センター  | 教職員研修 選択研修【III F1404】<br>先端技術活用講座—STEAM 教育の推進（ドローン）—        | 情報教育                | 13,14,44 |
| 381<br>★ | 11/20<br>(木)       | 県立総合教育<br>センター  | 教職員研修 選択研修【III F1405】<br>先端技術活用講座—STEAM 教育の推進（VR ゴーグル）—     | 情報教育                | 13,14,44 |
| 391<br>★ | 7/17<br>(木)        | 県立総合教育<br>センター  | 教職員研修 選択研修【III F1406】<br>生成 AI の利活用講座                       | 情報教育                | 13,14,44 |
| 401<br>★ | 6/20<br>(金)        | 県立総合教育<br>センター  | 教職員研修 選択研修【III F1407】<br>情報モラル教育講座                          | 情報教育                | 13,39,44 |

| 番号       | 期 日                        | 実施場所           | 研 修 内 容                                                  | 分 野    | 指標番号       |
|----------|----------------------------|----------------|----------------------------------------------------------|--------|------------|
| 411<br>★ | 6 / 12<br>(木)              | 県立総合教育<br>センター | 教職員研修 選択研修【III F1408】<br>情報セキュリティ講座                      | 情報教育   | 13, 39, 44 |
| 421<br>★ | 9 / 25<br>(木)              | 県立総合教育<br>センター | 教職員研修 選択研修【III F1409】<br>メディア・リテラシー教育講座                  | 情報教育   | 13, 44     |
| 431<br>★ | 7 / 3<br>(木)               | 県立総合教育<br>センター | 教職員研修 選択研修【III F1410】<br>Google Workspace 基礎講座           | 情報教育   | 14, 44     |
| 441<br>★ | 7 / 29<br>(火)              | 県立総合教育<br>センター | 教職員研修 選択研修【III F1411】<br>Google Workspace 実践講座           | 情報教育   | 13, 14, 44 |
| 442<br>★ | 12 / 4<br>(木)              |                |                                                          |        |            |
| 451<br>★ | 7 / 10<br>(木)              | 県立総合教育<br>センター | 教職員研修 選択研修【III F1412】<br>Office365 基礎講座                  | 情報教育   | 14, 44     |
| 461<br>★ | 8 / 5<br>(火)               | 県立総合教育<br>センター | 教職員研修 選択研修【III F1413】<br>Office365 実践講座                  | 情報教育   | 13, 14, 44 |
| 462<br>★ | 12 / 11<br>(木)             |                |                                                          |        |            |
| 471      | 1 / 16 (金)<br>～ 1 / 30 (金) | 勤務場所<br>(VOD)  | 教職員研修 選択研修【III F1414】<br>表計算ソフト活用講座 (VOD 研修)             | 情報教育   | 32, 37, 44 |
| 481      | 10 / 24<br>(金)             | 県立総合教育<br>センター | 教職員研修 選択研修【III G1201】<br>障害のある子どもをもつ保護者理解講座              | 特別支援教育 | 12, 35, 43 |
| 491      | 7 / 16<br>(水)              | 県立総合教育<br>センター | 教職員研修 選択研修【III G1202】<br>特別支援教育の基礎理解講座                   | 特別支援教育 | 11, 12, 35 |
| 501      | 9 / 3<br>(水)               | 県立総合教育<br>センター | 教職員研修 選択研修【III G1203】<br>インクルーシブ教育システムと合理的配慮の基礎講座        | 特別支援教育 | 10, 11, 12 |
| 511      | 6 / 11<br>(水)              | 県立総合教育<br>センター | 教職員研修 選択研修【III G1204】<br>特別支援教育における効果的な ICT 活用講座 A (基礎編) | 特別支援教育 | 11, 13, 14 |
| 521      | 12 / 1<br>(月)              | 県立総合教育<br>センター | 教職員研修 選択研修【III G1205】<br>特別支援教育における効果的な ICT 活用講座 B (応用編) | 特別支援教育 | 11, 13, 14 |
| 531      | 10 / 10<br>(金)             | 県立総合教育<br>センター | 教職員研修 選択研修【III G1206】<br>行動上の問題への対応講座                    | 特別支援教育 | 11, 12, 35 |
| 541      | 6 / 4<br>(水)               | 県立総合教育<br>センター | 教職員研修 選択研修【III G1207】<br>強度行動障害のある児童生徒への対応講座             | 特別支援教育 | 11, 12, 35 |
| 551      | 7 / 23<br>(水)              | 県立総合教育<br>センター | 教職員研修 選択研修【III G1208】<br>特別支援教育の視点を取り入れた音楽指導講座           | 特別支援教育 | 10, 18, 19 |
| 561      | 10 / 9<br>(木)              | 県立総合教育<br>センター | 教職員研修 選択研修【III G1209】<br>特別支援教育の視点を取り入れた図画工作・美術指導講座      | 特別支援教育 | 10, 18, 19 |
| 571      | 9 / 26<br>(金)              | 県立総合教育<br>センター | 教職員研修 選択研修【III G1210】<br>ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくり講座       | 特別支援教育 | 10, 11, 19 |
| 572      | 1 / 15<br>(木)              |                |                                                          |        |            |
| 581      | 9 / 4<br>(木)               | 県立総合教育<br>センター | 教職員研修 選択研修【III G1211】<br>特別支援教育の視点を取り入れた体育指導講座           | 特別支援教育 | 10, 11, 18 |
| 591      | 10 / 2<br>(木)              | 県立総合教育<br>センター | 教職員研修 選択研修【III G1212】<br>障害のある子どものための性教育講座               | 特別支援教育 | 11, 23, 35 |
| 601      | 8 / 8<br>(金)               | 県立総合教育<br>センター | 教職員研修 選択研修【III G1213】<br>発達障害のある子どもの就労支援講座               | 特別支援教育 | 12, 28, 35 |

県立総合教育センターが実施する教職員研修 選択研修 (番号 201～601) については、『令和 7 年度 教職員研修のしおり』p 79 を参照し、受講申込を各自で行ってください。

○開催要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約 1 か月前に掲載予定です。各自でダウンロード等を行ってください。

○芸術科 (音楽、美術、書道)、家庭科、看護科、福祉科の受講者は、教科指導研修として「生成 AI 利活用講座」、「情報モラル教育講座」、「情報セキュリティ講座」、「メディア・リテラシー教育講座」、「Google Workspace 基礎講座」、「Google Workspace 実践講座」、「Office365 基礎講座」、「Office365 実践講座」のいずれか 1 つの講座を、また商業科の受講者は、(高)情報科教育講座 A を選択する必要がありますが、教科指導研修として選択した講座を教育課題研修として二重に選択することはできません。

○番号欄に★マークのある講座では、eラーニングを活用した事前研修が実施されます。詳細は、『令和 7 年度 教職員研修のしおり』p 78 を確認してください。

(様式1)

## 高等学校中堅教諭等資質向上研修 研修計画調書

|      |  |      |  |     |  |
|------|--|------|--|-----|--|
| 受講番号 |  | 受講者名 |  | 教科名 |  |
| 所属校  |  |      |  | 校長名 |  |

### 1 受講者がこれまで受講した研修経験等（受講者記入）

### 2 資質・能力の向上の必要性に関する事前評価（学校長・受講者記入）

本研修の受講にあたり、現在の資質向上の必要性等について、p5の「兵庫県教員資質向上指標」に基づき、評価の上、記入してください。（数字の丸囲みは第2期（6～20年目）の重点的に研修に取り組む項目）

|         |                                                                                                                                                                                                   |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 記入上の留意点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記入に当たって、受講者は学校長とよく協議する。</li> <li>・ 「研修の必要性」欄について、受講者と学校長は、受講者が中堅教諭としての職務を遂行する上で、必要とされる資質・能力のさらなる向上を図るために、研修が特に必要と考える項目には◎印、必要と考える項目には○印を記入する。</li> </ul> |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 教育課題への取組 | 兵庫の教育課題への対応            |                                                                                                | 研修の必要性 |    |
|----------|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|----|
|          |                        |                                                                                                | 本人     | 校長 |
|          | 1                      | 地域の人的・物的資源を活用し、発達段階に応じて兵庫型「体験教育」を実践することができる。                                                   |        |    |
|          | ②                      | 国際社会で活躍する意欲や態度を育成するなど、グローバル化に対応した教育を実践することができる。                                                |        |    |
|          | 3                      | 伝統や文化を尊重し、ふるさと兵庫を愛する態度を養うことができる。                                                               |        |    |
|          | ④                      | 「参画と協働が拓く兵庫の未来」等の指導事例集や副教材を活用し、児童生徒の政治的教養を高め、主体的に社会の形成に参画し協働しようとする態度を養うことができる。                 |        |    |
|          | 5                      | 阪神・淡路大震災の記憶が風化することを防ぐとともに、その経験と教訓を活かし、主体的に判断して実践する力、助け合いやボランティア精神等共生の心を育む「兵庫の防災教育」を推進することができる。 |        |    |
|          | ⑥                      | 幼小中高大の新たな接続・連携に伴う変化に対応し、さらなる充実をめざした取組を行うことができる。                                                |        |    |
|          | 7                      | 部活動の実施に当たっては、安全に配慮しながら生徒の自主性、協調性、責任感、連帯感などを育てることができる。【中・高】                                     |        |    |
|          | 9                      | 豊かなスポーツライフを継続する資質・能力の育成をめざし、児童生徒が主体的に体力・運動能力向上を図る態度を育てることができる。【小・中高(保体)】                       |        |    |
|          | 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応 |                                                                                                | 研修の必要性 |    |
|          |                        |                                                                                                | 本人     | 校長 |
|          | ⑩                      | インクルーシブ教育システムの理念を理解し、全ての児童生徒等に分かりやすいユニバーサルな授業づくりや互いに認め支え合う集団づくりができる。                           |        |    |
|          | 11                     | 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。                                            |        |    |
|          | ICTや情報・教育データの利活用       |                                                                                                | 研修の必要性 |    |
|          |                        |                                                                                                | 本人     | 校長 |
|          | 13                     | Society5.0時代を生きていく児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力を育成するための指導を行うことができる。                                     |        |    |
|          | 14                     | 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。                                                               |        |    |
|          | 15                     | 各校の情報セキュリティ実施手順等に基づき、校内の情報を適切に管理し、取り扱うことができる。                                                  |        |    |
|          | ⑯                      | 学習履歴等のデータを活用し、児童生徒の学習の改善を図ることができる。                                                             |        |    |

|                |              |                                                                              |        |    |
|----------------|--------------|------------------------------------------------------------------------------|--------|----|
| 学習指導           | 授業実践力・授業改善力  |                                                                              | 研修の必要性 |    |
|                |              |                                                                              | 本人     | 校長 |
|                | 17           | 学校教育目標や児童生徒の実態を踏まえた年間指導計画を作成し、計画的に授業を進めることができる。                              |        |    |
|                | 18           | 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。                                   |        |    |
|                | ⑪            | 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。                |        |    |
|                | 20           | 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。                               |        |    |
|                | 専門性・探究力      |                                                                              | 研修の必要性 |    |
|                |              |                                                                              | 本人     | 校長 |
|                | ⑫            | 児童生徒や地域の実態に応じた教材を開発するなど、効果的な教科カリキュラムを編成することができる。                             |        |    |
| 学級・HR経営、生徒指導   | 集団を高める力      |                                                                              | 研修の必要性 |    |
|                |              |                                                                              | 本人     | 校長 |
|                | 23           | 自他の生命を尊重し、多様性を認め、様々な人権課題を解決しようとする実践的な行動力を育成することができる。                         |        |    |
|                | 24           | 体験活動や実践活動を通して、児童生徒の道德性の育成に努めている。                                             |        |    |
|                | ⑮            | いじめ、不登校等の教育課題の緊急性や重要性を理解し、他の教職員や関係機関と連携しながらその予防・解決に取り組むことができる。               |        |    |
|                | 26           | 学校教育目標の実現に向け、学級経営案やホームルーム計画の立案・実行・改善ができ、児童生徒が安心して過ごせる学級づくりに取り組むことができる。       |        |    |
|                | 一人一人の能力を高める力 |                                                                              | 研修の必要性 |    |
|                |              |                                                                              | 本人     | 校長 |
|                | 27           | 児童生徒との適切な距離を保ちながら、生活背景や内面の理解に努め、カウンセリングマインドをもって、児童生徒と接することができる。              |        |    |
|                | 28           | 社会的・職業的自立の基盤となる能力や態度の育成等を通して、児童生徒のキャリア発達を促すことができる。                           |        |    |
| チームで職務を担う体制づくり | ⑯            | 「学校業務改善に関するガイドライン」に基づき、児童生徒と向き合う時間の確保と、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、計画的に仕事を進めることができる。 |        |    |
|                | 33           | 児童生徒への指導等に関して、同僚・先輩や管理職等に相談し、指導に生かすことができる。                                   |        |    |
|                | ⑳            | 豊富な知識や経験を基に、若手教員に対し個性や特性に応じて支援するとともに、同僚と協働して学校の課題に取り組むことができる。                |        |    |
|                | 35           | 課題解決に向け、校内の共通理解を図り、家庭・地域・関係機関等と連携して取り組むことができる。                               |        |    |
|                | 組織的対応力       |                                                                              | 研修の必要性 |    |
|                |              |                                                                              | 本人     | 校長 |
|                | 36           | 学校教育目標の達成に向け、主体的・積極的に学校運営に参画することができる。                                        |        |    |
|                | 37           | 校内における自分の役割を認識し、校務分掌を的確かつ効率的に遂行できる。                                          |        |    |
|                | ㉑            | 家庭や地域社会と連携し、開かれた学校づくりに努めている。                                                 |        |    |
|                | ㉒            | 学校の危機管理マニュアルを理解し、事件や事故、トラブルに適切に対応することができる。                                   |        |    |

| 資<br>質<br>を<br>高<br>め<br>る<br>自<br>律<br>性 | 自己管理能力・変革力 |                                                   | 研修の必要性 |    |
|-------------------------------------------|------------|---------------------------------------------------|--------|----|
|                                           |            |                                                   | 本人     | 校長 |
|                                           | 42         | 日頃から、ストレスマネジメントに努めるとともに、教員として自覚ある行動をとることができる。     |        |    |
|                                           | 43         | 適切な言動を心がけ、児童生徒や保護者等からの信頼確保に努めている。                 |        |    |
|                                           | 44         | 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。 |        |    |
|                                           | 45         | 日々の実践等を振り返り、主体的に自らの教育活動の工夫・改善に努めている。              |        |    |

### 3 中堅教諭等資質向上研修全体を通して身に付けたい資質・能力（受講者記入）

### 4 研修に当たっての校長の意見（学校長記入）

<記入上の注意>

・フォント：MS明朝、文字サイズは縮小可

(様式2)

受講番号



## 高等学校中堅教諭等資質向上研修 教育課題研修(2日分)希望調査

第1、第2希望に入力漏れがあります。  
第3、第4希望に入力漏れがあります。

### 県内の大学・教育施設による研修(2日)

※教育課題研修では、県内の大学・教育施設による研修を2日、県立総合教育センターの選択研修講座による研修を1日、合計3日間受講します。(様式2)では、その内、**県内の大学・教育施設による研修の2日分**の希望調査を行います。

※県立総合教育センターの選択研修講座による研修1日分については、既に各自でお申し込みいただいたと思いますが、まだの場合は「令和7年度 教職員研修のしおり」のp79を参照し、各自でお申し込みください。

※**必ず第4希望まで**入力してください。

#### <第1、第2希望について>

※**県内の大学・教育施設による研修**(p9のNo.111～No.181)の中から、選択を希望する講座の第1希望、第2希望を入力してください。

|      | 研修場所 | 研修予定日 | 研修内容(講義タイトル等) |
|------|------|-------|---------------|
| 第1希望 |      |       |               |
| 第2希望 |      |       |               |

#### <第3、第4希望について>

※**県内の大学・教育施設による研修**(No.111～No.181)の中から、選択を希望する講座の第3希望、第4希望を入力してください。

|      | 研修場所 | 研修予定日 | 研修内容(講義タイトル等) |
|------|------|-------|---------------|
| 第3希望 |      |       |               |
| 第4希望 |      |       |               |

※教科指導研修、及び教育課題研修(県立総合教育センターの選択研修講座による研修1日分)の研修予定日と、**日程の重なりがないことをよく確認してから**、管理職を通じて5月26日(月)までに提出してください。

※提出の際は、**D4のセルが赤くなっていない**ことを確認してください。

(様式3)

### 高等学校中堅教諭等資質向上研修 研修計画書

|      |  |      |  |
|------|--|------|--|
| 受講番号 |  | 受講者名 |  |
| 所属校  |  |      |  |

校内研修の日数が足りません。確認の上、修正してください。

#### 1 校外研修

##### (1) 共通研修 (3日)

|        |       |         |               |      |
|--------|-------|---------|---------------|------|
| 目<br>標 |       |         |               |      |
| 回      | 研修の概要 | 研修予定日   | 具 体 的 研 修 内 容 | 指標番号 |
| 1      |       | 月 日 ( ) |               |      |
| 2      |       | 月 日 ( ) |               |      |
| 3      |       | 月 日 ( ) |               |      |

##### (2) 教科指導研修 (4日)

|        |       |         |               |      |
|--------|-------|---------|---------------|------|
| 目<br>標 |       |         |               |      |
| 回      | 研修の概要 | 研修予定日   | 具 体 的 研 修 内 容 | 指標番号 |
| 1      |       | 月 日 ( ) |               |      |
| 2      |       | 月 日 ( ) |               |      |
| 3      |       | 月 日 ( ) |               |      |
| 4      |       | 月 日 ( ) |               |      |

##### (3) 教育課題研修 (3日)

|        |  |  |  |  |
|--------|--|--|--|--|
| 目<br>標 |  |  |  |  |
|--------|--|--|--|--|

選択研修 ※「教師の学びのサイクル」受講者はオンライン研修(VOD)(1日)、対面研修(1日)を必ず受講する。

|   |            |         |               |      |
|---|------------|---------|---------------|------|
| 回 | 大学等名または講座名 | 研修予定日   | 具 体 的 研 修 内 容 | 指標番号 |
| 1 |            | 月 日 ( ) |               |      |
| 2 |            | 月 日 ( ) |               |      |
| 3 |            | 月 日 ( ) |               |      |

## 2 校内研修

### (1) 教科指導 実地研修Ⅰ－教科指導研修(校外研修)での学びを生かした授業研究－(5日～7日)

|        |       |         |         |      |
|--------|-------|---------|---------|------|
| 目<br>標 |       |         |         |      |
| 回      | 研修の概要 | 研修予定日   | 具体的研修内容 | 指標番号 |
| 1      |       | 月 日 ( ) |         |      |
| 2      |       | 月 日 ( ) |         |      |
| 3      |       | 月 日 ( ) |         |      |
| 4      |       | 月 日 ( ) |         |      |
| 5      |       | 月 日 ( ) |         |      |
| 6      |       | 月 日 ( ) |         |      |
| 7      |       | 月 日 ( ) |         |      |

### (2) 教科指導 実地研修Ⅱ－各自が設定したテーマの実現に向けた授業改善－(5日～7日)

|        |       |         |         |      |
|--------|-------|---------|---------|------|
| 目<br>標 |       |         |         |      |
| 回      | 研修の概要 | 研修予定日   | 具体的研修内容 | 指標番号 |
| 1      |       | 月 日 ( ) |         |      |
| 2      |       | 月 日 ( ) |         |      |
| 3      |       | 月 日 ( ) |         |      |
| 4      |       | 月 日 ( ) |         |      |
| 5      |       | 月 日 ( ) |         |      |
| 6      |       | 月 日 ( ) |         |      |
| 7      |       | 月 日 ( ) |         |      |

### (3) 生徒指導 実地研修－生徒指導上の課題への組織的対応－(2日～5日)

|        |       |         |         |      |
|--------|-------|---------|---------|------|
| 目<br>標 |       |         |         |      |
| 回      | 研修の概要 | 研修予定日   | 具体的研修内容 | 指標番号 |
| 1      |       | 月 日 ( ) |         |      |
| 2      |       | 月 日 ( ) |         |      |
| 3      |       | 月 日 ( ) |         |      |
| 4      |       | 月 日 ( ) |         |      |
| 5      |       | 月 日 ( ) |         |      |

### (4) 職務に応じた専門性向上研修－校務分掌に関連する能力の向上、課題解決－(2日～5日)

|        |       |         |         |      |
|--------|-------|---------|---------|------|
| 目<br>標 |       |         |         |      |
| 回      | 研修の概要 | 研修予定日   | 具体的研修内容 | 指標番号 |
| 1      |       | 月 日 ( ) |         |      |
| 2      |       | 月 日 ( ) |         |      |
| 3      |       | 月 日 ( ) |         |      |
| 4      |       | 月 日 ( ) |         |      |
| 5      |       | 月 日 ( ) |         |      |

#### <記入上の注意>

- ・受講者が記入すること。(フォント：MS明朝、文字サイズは縮小可)
- ・校内研修は合計20日以上となるように計画し、研修内容については、主なものを具体的に記入すること。
- ・指標番号について、校外研修はp8～p11記載の指標番号を、校内研修は冊子p5「兵庫県教員資質向上指標」を確認し、研修内容に基づいた数字を記入すること。

(様式4)

# 高等学校中堅教諭等資質向上研修 研修報告書

|          |  |      |    |  |  |
|----------|--|------|----|--|--|
| 受講<br>番号 |  | 受講者名 |    |  |  |
| 所 属 校    |  |      |    |  |  |
| 校 長 名    |  |      | 教科 |  |  |

校内研修の日数が足りません。確認の上、修正してください。

## 1 校外研修

### (1) 共通研修 (3日)

| 回        | 研修の概要 | 研修日 |   | 具体的研修内容 |
|----------|-------|-----|---|---------|
| 1        | 共通①   | 月   | 日 |         |
| 2        | 共通②   | 月   | 日 |         |
| 3        | 共通③   | 月   | 日 |         |
| 研修<br>成果 |       |     |   |         |

### (2) 教科指導研修 (4日)

| 回        | 研修の概要 | 研修日 |   | 具体的研修内容 |
|----------|-------|-----|---|---------|
| 1        | 教科指導① | 月   | 日 |         |
| 2        | 教科指導② | 月   | 日 |         |
| 3        | 教科指導③ | 月   | 日 |         |
| 4        | 教科指導④ | 月   | 日 |         |
| 研修<br>成果 |       |     |   |         |

### (3) 教育課題研修 (3日)

選択研修 ※「教師の学びのサイクル」受講者はオンライン研修(VOD)(1日)、対面研修(1日)を必ず受講する。

| 回        | 大学等名または講座名 | 研修日 |   | 具体的研修内容 |
|----------|------------|-----|---|---------|
| 1        |            | 月   | 日 |         |
| 研修<br>成果 |            |     |   |         |
| 2        |            | 月   | 日 |         |
| 研修<br>成果 |            |     |   |         |
| 3        |            | 月   | 日 |         |
| 研修<br>成果 |            |     |   |         |

## 2 校内研修

### (1) 教科指導 実地研修Ⅰ－教科指導研修(校外研修)での学びを生かした授業研究－(5日～7日)

| 回    | 研修の概要 | 研修日 |   | 具体的研修内容 |
|------|-------|-----|---|---------|
| 1    |       | 月   | 日 |         |
| 2    |       | 月   | 日 |         |
| 3    |       | 月   | 日 |         |
| 4    |       | 月   | 日 |         |
| 5    |       | 月   | 日 |         |
| 6    |       | 月   | 日 |         |
| 7    |       | 月   | 日 |         |
| 研修成果 |       |     |   |         |

### (2) 教科指導 実地研修Ⅱ－各自が設定したテーマの実現に向けた授業改善－(5日～7日)

| 回    | 研修の概要 | 研修日 |   | 具体的研修内容 |
|------|-------|-----|---|---------|
| 1    |       | 月   | 日 |         |
| 2    |       | 月   | 日 |         |
| 3    |       | 月   | 日 |         |
| 4    |       | 月   | 日 |         |
| 5    |       | 月   | 日 |         |
| 6    |       | 月   | 日 |         |
| 7    |       | 月   | 日 |         |
| 研修成果 |       |     |   |         |

### (3) 生徒指導 実地研修－生徒指導上の課題への組織的対応－(2日～5日)

| 回    | 研修の概要 | 研修日 |   | 具体的研修内容 |
|------|-------|-----|---|---------|
| 1    |       | 月   | 日 |         |
| 2    |       | 月   | 日 |         |
| 3    |       | 月   | 日 |         |
| 4    |       | 月   | 日 |         |
| 5    |       | 月   | 日 |         |
| 研修成果 |       |     |   |         |

### (4) 職務に応じた専門性向上研修－校務分掌に関連する能力の向上、課題解決－(2日～5日)

| 回    | 研修の概要 | 研修日 |   | 具体的研修内容 |
|------|-------|-----|---|---------|
| 1    |       | 月   | 日 |         |
| 2    |       | 月   | 日 |         |
| 3    |       | 月   | 日 |         |
| 4    |       | 月   | 日 |         |
| 5    |       | 月   | 日 |         |
| 研修成果 |       |     |   |         |

#### <記入上の注意>

- ・受講者が記入すること。(フォント：MS明朝、文字サイズは縮小可)
- ・校内研修は日数を確認のうえ、合計20日となるように計画し、研修内容については、主なものを具体的に記入すること
- ・提出の際は、研修日の日程に重なりがないことを確認してください。

# 高等学校中堅教諭等資質向上研修 研修報告調書

|      |  |      |  |
|------|--|------|--|
| 学校名  |  |      |  |
| 受講者名 |  | 受講番号 |  |
| 校長名  |  | 教科   |  |

## 1 当初の目標に対する自己評価(受講者記入)

## 2 研修の実施状況及び今後の必要性について(学校長・受講者記入)

本研修の実施状況を踏まえ、今後の研修の必要性について、「兵庫県教員資質向上指標」に基づき評価します。(数字の丸囲みは第2期(6～20年目)の重点的に研修に取り組む項目)

|         |                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 記入上の留意点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「実施状況」欄について、本研修の校外研修・校内研修において研修した項目に●印を記入する。</li> <li>・「今後深めたい項目」欄について、受講者と校長は、受講者が今後さらに専門性を伸ばすために、研修が特に必要と考える項目には◎印、必要と考える項目には○印を記入する。</li> <li>・「実施状況」の校外研修は、研究会・研修会等及び研修所講座を含む。</li> </ul> |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 教育課題への取組 | 兵庫の教育課題への対応            |                                                                                                | 実施状況 |      | 今後深めたい項目 |    |
|----------|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|----------|----|
|          |                        |                                                                                                | 校外研修 | 校内研修 | 本人       | 校長 |
|          | 1                      | 地域の人的・物的資源を活用し、発達段階に応じて兵庫型「体験教育」を実践することができる。                                                   |      |      |          |    |
|          | ②                      | 国際社会で活躍する意欲や態度を育成するなど、グローバル化に対応した教育を実践することができる。                                                |      |      |          |    |
|          | 3                      | 伝統や文化を尊重し、ふるさと兵庫を愛する態度を養うことができる。                                                               |      |      |          |    |
|          | ④                      | 「参画と協働が拓く兵庫の未来」等の指導事例集や副教材を活用し、児童生徒の政治的教養を高め、主体的に社会の形成に参画し協働しようとする態度を養うことができる。                 |      |      |          |    |
|          | 5                      | 阪神・淡路大震災の記憶が風化することを防ぐとともに、その経験と教訓を活かし、主体的に判断して実践する力、助け合いやボランティア精神等共生の心を育む「兵庫の防災教育」を推進することができる。 |      |      |          |    |
|          | ⑥                      | 幼小中高大の新たな接続・連携に伴う変化に対応し、さらなる充実をめざした取組を行うことができる。                                                |      |      |          |    |
|          | 7                      | 部活動の実施に当たっては、安全に配慮しながら生徒の自主性、協調性、責任感、連帯感などを育てることができる。【中・高】                                     |      |      |          |    |
|          | 9                      | 豊かなスポーツライフを継続する資質・能力の育成をめざし、児童生徒が主体的に体力・運動能力向上を図る態度を育てることができる。【小・中高(保体)】                       |      |      |          |    |
|          | 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応 |                                                                                                | 実施状況 |      | 今後深めたい項目 |    |
|          |                        |                                                                                                | 校外研修 | 校内研修 | 本人       | 校長 |
|          | ⑩                      | インクルーシブ教育システムの理念を理解し、全ての児童生徒等に分かりやすいユニバーサルな授業づくりや互いに認め支え合う集団づくりができる。                           |      |      |          |    |
|          | 11                     | 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。                                            |      |      |          |    |
|          | ICTや情報・教育データの利活用       |                                                                                                | 実施状況 |      | 今後深めたい項目 |    |
|          |                        |                                                                                                | 校外研修 | 校内研修 | 本人       | 校長 |
|          | 13                     | Society5.0時代を生きていく児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力を育成するための指導を行うことができる。                                     |      |      |          |    |
|          | 14                     | 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。                                                               |      |      |          |    |
|          | 15                     | 各校の情報セキュリティ実施手順等に基づき、校内の情報を適切に管理し、取り扱うことができる。                                                  |      |      |          |    |
|          | ⑩                      | 学習履歴等のデータを活用し、児童生徒の学習の改善を図ることができる。                                                             |      |      |          |    |

|      | 授業実践力・授業改善力 | 実施状況                                                          |      | 今後深めたい項目 |       |
|------|-------------|---------------------------------------------------------------|------|----------|-------|
|      |             | 校外研修                                                          | 校内研修 | 本人       | 校長    |
|      |             |                                                               |      |          |       |
| 学習指導 | 17          | 学校教育目標や児童生徒の実態を踏まえた年間指導計画を作成し、計画的に授業を進めることができる。               |      |          |       |
|      | 18          | 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。                    |      |          |       |
|      | ⑮           | 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。 |      |          |       |
|      | 20          | 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。                |      |          |       |
|      | 専門性・探究力     |                                                               | 実施状況 | 今後深めたい項目 |       |
|      |             |                                                               | 校外研修 | 校内研修     | 本人 校長 |
|      |             |                                                               |      |          |       |
|      |             |                                                               |      |          |       |
|      | ㉑           | 児童生徒や地域の実態に応じた教材を開発するなど、効果的な教科カリキュラムを編成することができる。              |      |          |       |
|      | ㉒           | 全国学力・学習状況調査結果等自校の課題を分析し、組織的・体系的な学力向上の取組ができる。                  |      |          |       |

|              | 集団を高める力      | 実施状況                                                                   |      | 今後深めたい項目 |       |
|--------------|--------------|------------------------------------------------------------------------|------|----------|-------|
|              |              | 校外研修                                                                   | 校内研修 | 本人       | 校長    |
|              |              |                                                                        |      |          |       |
| 学級・HR経営、生徒指導 | 23           | 自他の生命を尊重し、多様性を認め、様々な人権課題を解決しようとする実践的な行動力を育成することができる。                   |      |          |       |
|              | 24           | 体験活動や実践活動を通して、児童生徒の道徳性の育成に努めている。                                       |      |          |       |
|              | ㉕            | いじめ、不登校等の教育課題の緊急性や重要性を理解し、他の教職員や関係機関と連携しながらその予防・解決に取り組むことができる。         |      |          |       |
|              | 26           | 学校教育目標の実現に向け、学級経営案やホームルーム計画の立案・実行・改善ができ、児童生徒が安心して過ごせる学級づくりに取り組むことができる。 |      |          |       |
|              | 一人一人の能力を高める力 |                                                                        | 実施状況 | 今後深めたい項目 |       |
|              |              |                                                                        | 校外研修 | 校内研修     | 本人 校長 |
|              |              |                                                                        |      |          |       |
|              |              |                                                                        |      |          |       |
|              |              |                                                                        |      |          |       |
|              |              |                                                                        |      |          |       |
|              |              |                                                                        |      |          |       |
|              | 27           | 児童生徒との適切な距離を保ちながら、生活背景や内面の理解に努め、カウンセリングマインドをもって、児童生徒と接することができる。        |      |          |       |
|              | 28           | 社会的・職業的自立の基盤となる能力や態度の育成等を通して、児童生徒のキャリア発達を促すことができる。                     |      |          |       |
|              | ㉙            | 児童生徒が自らのよさや可能性を認識し、多様な他者と協働する力を身に付けられるよう指導することができる。                    |      |          |       |
|              | 30           | 児童生徒の健康課題を的確に捉え、それを解決するための保健教育や保健指導ができる。                               |      |          |       |
|              | ㉚            | 偏食傾向や肥満傾向、食物アレルギー等の健康課題を抱える児童生徒に対し、個別の相談指導ができる。                        |      |          |       |

| チームで職務を担う体制づくり | 協働性・同僚性 |                                                                              | 実施状況 |      | 今後深めたい項目 |    |
|----------------|---------|------------------------------------------------------------------------------|------|------|----------|----|
|                |         |                                                                              | 校外研修 | 校内研修 | 本人       | 校長 |
|                | ㉓       | 「学校業務改善に関するガイドライン」に基づき、児童生徒と向き合う時間の確保と、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、計画的に仕事を進めることができる。 |      |      |          |    |
|                | 33      | 児童生徒への指導等に関して、同僚・先輩や管理職等に相談し、指導に生かすことができる。                                   |      |      |          |    |
|                | ㉔       | 豊富な知識や経験を基に、若手教員に対し個性や特性に応じて支援するとともに、同僚と協働して学校の課題に取り組むことができる。                |      |      |          |    |
|                | 35      | 課題解決に向け、校内の共通理解を図り、家庭・地域・関係機関等と連携して取り組むことができる。                               |      |      |          |    |
|                | 組織的対応力  |                                                                              | 実施状況 |      | 今後深めたい項目 |    |
|                |         |                                                                              | 校外研修 | 校内研修 | 本人       | 校長 |
|                | 36      | 学校教育目標の達成に向け、主体的、積極的に学校運営に参画することができる。                                        |      |      |          |    |
|                | 37      | 校内における自分の役割を認識し、校務分掌を的確かつ効率的に遂行できる。                                          |      |      |          |    |
|                | ㉕       | 家庭や地域社会と連携し、開かれた学校づくりに努めている。                                                 |      |      |          |    |
|                | ㉖       | 学校の危機管理マニュアルを理解し、事件や事故、トラブルに適切に対応することができる。                                   |      |      |          |    |

| 資質を高める自律性 | 自己管理能力・変革力 |                                                   | 実施状況 |      | 今後深めたい項目 |    |
|-----------|------------|---------------------------------------------------|------|------|----------|----|
|           |            |                                                   | 校外研修 | 校内研修 | 本人       | 校長 |
|           | 42         | 日頃から、ストレスマネジメントに努めるとともに、教員として自覚ある行動をとることができる。     |      |      |          |    |
|           | 43         | 適切な言動を心がけ、児童生徒や保護者等からの信頼確保に努めている。                 |      |      |          |    |
|           | 44         | 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。 |      |      |          |    |
|           | 45         | 日々の実践等を振り返り、主体的に自らの教育活動の工夫・改善に努めている。              |      |      |          |    |

### 3 校長の意見（学校長記入）

|                            |      |
|----------------------------|------|
| 令和7年度 高等学校中堅教諭等資質向上研修 校外研修 | 共通研修 |
|----------------------------|------|

日程表（研修場所：県立総合教育センター）

| 月日  | 実施形態  | 内容                                          | 講師                 | 場所    |
|-----|-------|---------------------------------------------|--------------------|-------|
| 第1回 | VOD   | オリエンテーション<br>・中堅教諭等資質向上研修の目的<br>・受講に関する諸注意等 | 県立総合教育センター<br>指導主事 | 各勤務場所 |
|     |       | 講義<br>高等学校教育の現状と課題                          | 県教委<br>高校教育課       |       |
|     |       |                                             |                    |       |
|     | 集合研修※ | 講義<br>教員の学びのサイクル①                           | 県立総合教育センター<br>指導主事 | 講堂    |
|     |       | 演習・協議<br>各自の能力・適性等の評価と研修課題の設定               | 県立総合教育センター<br>指導主事 |       |

※集合研修の時間については、総合教育センターWebサイトで別途お知らせします。

| 月日  | 実施形態 | 内容                                                            | 講師                 | 場所          |
|-----|------|---------------------------------------------------------------|--------------------|-------------|
| 第2回 | VOD※ | 講義<br>教育公務員の職務                                                | 県教委<br>教職員人事課      | 勤務校場所       |
|     |      |                                                               |                    |             |
|     | 集合研修 | 13:00 受付                                                      |                    | 本館<br>1Fロビー |
|     |      | 13:20 連絡会等                                                    |                    | 講堂          |
|     |      | 13:30 講義・演習・協議<br>教員としての自己管理<br>(アンガーマネジメントの理論と実践)            | 県立総合教育センター<br>指導主事 |             |
|     |      | 14:40 演習・協議<br>多様な生徒の自立と社会参加をめざす<br>キャリア教育<br>(特別支援教育の視点から学ぶ) | 県立総合教育センター<br>指導主事 |             |
|     |      | 16:00                                                         |                    |             |

※第2回共通研修（オンライン研修（VOD））は、校外研修として取り扱う。

| 月日  | 実施形態 | 内容                                                 | 講師                     | 場所          |
|-----|------|----------------------------------------------------|------------------------|-------------|
| 第3回 | 集合研修 | 9:00 受付                                            |                        | 本館<br>1Fロビー |
|     |      | 9:35 連絡会等                                          |                        | 各研修室        |
|     |      | 9:50 演習・協議<br>学校におけるこれからの役割<br>(ミドルリーダーとして活躍するために) | 県立総合教育センター<br>指導主事     | 各研修室        |
|     |      | 12:00 演習・協議<br>研修の評価とキャリアプラン                       | 県立総合教育センター<br>指導主事     | 各研修室        |
|     |      | 15:15 講義<br>教員の学びのサイクル②                            | 県立総合教育センター<br>指導主事     | 講堂          |
|     |      | 15:30 閉講式                                          | 県立総合教育センター<br>高校教育研修課長 | 講堂          |
|     |      |                                                    |                        |             |
|     |      |                                                    |                        |             |
|     |      |                                                    |                        |             |

※ 携行品など詳細については、各回の10日前までに県立総合教育センターの高校教育研修課中堅教諭等資質向上研修のWebサイトに掲載します。各自で確認するようにしてください。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください（第3回のみ）。食事代金660円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で、食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに管理職を通じて高校教育研修課までご連絡ください。

|                   |     |
|-------------------|-----|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 国 語 |
| 教科指導研修            |     |

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) いま求められている国語科の授業づくりについて理解する。
- (2) 国語科の授業における効果的な指導の在り方について理解する。
- (3) 国語科教員としての資質を高めるための取組について考えを深める。
- (4) 国語科教員としての自身の在り方について考えを深める。

| 日程          | 研修内容                           |                          |
|-------------|--------------------------------|--------------------------|
| 6/30<br>(月) | 教科指導研修①                        |                          |
|             | 午前<br>・指導と評価の一体化（教科横断）         | 午後<br>・効果的な学習課題と学習評価の在り方 |
| 8/6<br>(水)  | 教科指導研修②<br>・国語科の授業を探究する        |                          |
| 10/6<br>(月) | 教科指導研修③<br>・いま求められている国語科の授業づくり |                          |
| 11/4<br>(火) | 教科指導研修④<br>・国語科教員としての資質を高める取組  |                          |

※ 6/30（月）の詳細（日程、持参物等）については、県立総合教育センターの高校教育研修課中堅教諭等資質向上研修のWebサイトで確認してください。5月下旬に掲載予定です。

※ 8/6（水）、10/6（月）、11/4（火）の持参物

- ・ 8/6（水）：①本年度に自身が作成した定期考査問題のうち大問1題と解答。  
（定期考査を実施していない場合は、それに準ずるもの）  
A4版（様式自由・縮小コピーなどでも可）で作成し、国語科受講者数＋1部を印刷し持参する。
  - ・ 11/4（火）：国語科教員としての専門性を高めるのに役立った書籍のリスト。  
（書名・著者・出版社を記したもの）  
A4版（様式自由）で作成し、国語科受講者数＋1部を印刷し持参する。
- \* その他、詳細は回ごとに案内します。

※ 昼食は必センター内の食堂を利用してください。食事代金 660 円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。

|                   |         |
|-------------------|---------|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 地理歴史・公民 |
| 教科指導研修            |         |

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 地理歴史科、公民科における指導と評価の一体化及び探究的な学習の授業づくりの視点について理解する。
- (2) 社会的な見方・考え方を働かせる思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりの視点について理解する。
- (3) 地理歴史科、公民科の指導における様々な場面に応じた効果的なICTの活用について理解する。

| 日程          | 研修内容                        |                    |
|-------------|-----------------------------|--------------------|
| 6/30<br>(月) | 教科指導研修①                     |                    |
|             | 午前<br>・指導と評価の一体化（教科横断）      | 午後<br>・授業力向上に向けた課題 |
| 8/6<br>(水)  | 教科指導研修②<br>－授業力向上に向けた探究活動①－ |                    |
| 10/6<br>(月) | 教科指導研修③<br>－授業力向上に向けた探究活動②－ |                    |
| 11/4<br>(火) | 教科指導研修④<br>－授業力向上に向けた探究活動③－ |                    |

※ 6/30（月）の詳細（日程、持参物等）については、県立総合教育センターの高校教育研修課中堅教諭等資質向上研修のWebサイトで確認してください。5月下旬に掲載予定です。

※ 8/6（水）、10/6（月）、11/4（火）の持参物について  
担当している科目の教科書、参考書、可能な限り端末、  
学習指導要領解説（平成三十年告示）解説 地理歴史編、公民編  
（詳細については、後日お知らせします。）

※ 昼食は必ず所内の食堂を利用してください。食事代金 660 円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。

|                   |     |
|-------------------|-----|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 数 学 |
| 教科指導研修            |     |

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 学習指導要領における数学的活動の充実について理解する。
- (2) 生徒の主体的な学びを実現するための数学的活動の在り方について理解する。
- (3) 数学科の指導における様々な場面に応じた効果的なICTの活用について理解する。
- (4) 学習指導要領における「統計的な内容」について理解する。
- (5) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の在り方について理解する。

| 日程          | 研修内容                              |                           |
|-------------|-----------------------------------|---------------------------|
| 7/4<br>(金)  | 教科指導研修①                           |                           |
|             | 午前<br>・指導と評価の一体化（教科横断）            | 午後<br>・ICTを活用した授業づくり（教科別） |
| 8/7<br>(木)  | 教科指導研修②<br>・数学的活動の充実              |                           |
| 10/7<br>(火) | 教科指導研修③<br>・統計的な内容の充実             |                           |
| 11/5<br>(水) | 教科指導研修④<br>・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 |                           |

※ 7/4（金）の詳細（日程、持参物等）については、県立総合教育センターの高校教育研修課中堅教諭等資質向上研修のWebサイトで確認してください。5月下旬に掲載予定です。

※ 毎回の持参物

- ・担当している科目の教科書、副教材等
- ・上記以外の持参物については、研修内で別途指示します。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 660 円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。

|                   |     |
|-------------------|-----|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 理 科 |
| 教科指導研修            |     |

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 理科の見方・考え方を働かせ科学的に探究する資質・能力を育む授業の在り方を理解する。
- (2) 見通しをもって観察・実験を行える生徒を育てるための授業づくりの視点を身に付ける。
- (3) 理科の指導における様々な場面に応じた効果的なICTの活用について理解する。
- (4) 主体的・対話的で深い学びを実現するためのタブレット端末の活用について理解する。

| 日程          | 研修内容                                      |                    |
|-------------|-------------------------------------------|--------------------|
| 6/30<br>(月) | 教科指導研修①                                   |                    |
|             | 午前<br>・指導と評価の一体化（教科横断）                    | 午後<br>・理科教員の自律的な学び |
| 8/7<br>(木)  | 教科指導研修②<br>－探究する過程を意識した理科の授業づくり－          |                    |
| 10/7<br>(火) | 教科指導研修③<br>－ICT 活用を意識した観察・実験の授業づくり－       |                    |
| 11/5<br>(水) | 教科指導研修④<br>－ICT 活用を意識した観察・実験の授業実践と評価について－ |                    |

※ 7/4（金）の詳細（日程、持参物等）については、県立総合教育センターの高校教育研修課中堅教諭等資質向上研修の Web サイトで確認してください。5月下旬に掲載予定です。

※ 8/7（水）、10/7（火）、11/5（水）の持参物

- ・担当している科目の教科書、参考書
- ・高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 理科編 理数編
- ・実験用白衣（10/7 のみ）

（詳細については、後日お知らせします。）

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 660 円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。

|                   |      |
|-------------------|------|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 保健体育 |
| 教科指導研修            |      |

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 学習指導要領に基づいた「教科指導」と「主体的・対話的で深い学び」等について理解を深め、実践的な指導の在り方について考える。
- (2) 学校における保健安全について理解を深める。
- (3) 保健体育科におけるカリキュラムマネジメントの視点を理解する。

| 日程          | 研修内容                                                         |                                                              |                                                       |
|-------------|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 6/30<br>(月) | 教科指導研修①                                                      |                                                              |                                                       |
|             | 午前<br>・指導と評価の一体化（教科横断）                                       | 午後<br>・「学習指導要領の趣旨を踏まえた保健体育授業の現状について」（教科別）                    |                                                       |
|             | 1 限 9:50～11:30                                               | 2 限 12:30～14:10                                              | 3 限 14:25～16:10                                       |
| 8/6<br>(水)  | 研究協議Ⅰ<br>「各学校における保健体育科の現状とカリキュラムマネジメントについて」<br>体育保健課<br>指導主事 | 研究協議Ⅱ<br>「各学校における保健体育科の現状とカリキュラムマネジメントについて」<br>体育保健課<br>指導主事 | 講義<br>「学校における保健安全の取組について」<br>体育保健課<br>指導主事            |
| 8/7<br>(木)  | 演習・協議Ⅰ<br>「生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する授業実践」<br>体育保健課<br>指導主事        | 演習・協議Ⅱ<br>「生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する授業実践」<br>体育保健課<br>指導主事        | 演習・協議Ⅲ<br>「生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する授業実践」<br>体育保健課<br>指導主事 |
| 10/6<br>(月) | 演習・協議Ⅳ<br>「生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する授業実践」<br>体育保健課<br>指導主事        | 演習・協議Ⅴ<br>「生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する授業実践」<br>体育保健課<br>指導主事        | 研究協議Ⅲ<br>「保健体育科中堅教諭等資質向上研修のまとめ」<br>体育保健課<br>指導主事      |

※ 6/30(月)の詳細(日程、持参物等)については、県立総合教育センターの高校教育研修課中堅教諭等資質向上研修のWebサイトで確認してください。5月下旬に掲載予定です。

※ 8/6(水)、8/7(木)、10/6(月)の持参物

- ・筆記用具
- ・「高等学校学習指導要領解説 保健体育・体育編」(平成30年告示)
- ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校保健体育】  
(国立教育政策研究所) ※ネット検索可能
- ・各校の令和7年度保健体育科年間指導計画、USBメモリ
- ・資料作成用のパソコン(officeがインストールされているもの)
- ・運動ができる服装・体育館シューズ(8月7日)

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金660円を受付時に徴収します。  
特別な事情(食事療法等)で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日(土・日・祝を除く)までに高校教育研修課まで申し出てください。

|                   |        |
|-------------------|--------|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 芸術（音楽） |
| 教科指導研修            |        |

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 学習指導要領を踏まえた授業づくりを実践するための工夫について理解する。
- (2) 音楽的な見方・考え方を働かせ、音楽表現を創意工夫した授業づくりについて理解する。
- (3) 芸術科（音楽）の指導における様々な場面に応じた効果的なICTの活用について理解する。

| 日程          | 研修内容                                                            |                  |
|-------------|-----------------------------------------------------------------|------------------|
| 6/30<br>(月) | 教科指導研修①                                                         |                  |
|             | 午前<br>・指導と評価の一体化（教科横断）                                          | 午後<br>・教員の自律的な学び |
| 7/28<br>(月) | 教職員研修 選択研修【ⅢC1309】<br>(高)芸術科(音楽)教育講座 -主体的・協働的に音楽に関わる態度を養う授業づくり- |                  |
| 8/6<br>(水)  | 教科指導研修②<br>ー効果的な授業研究の手法についてー                                    |                  |
| 7/17<br>(木) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1406】<br>生成 AI の利活用講座 ー校務や教育活動での効果的な活用ー            |                  |
| 6/20<br>(金) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1407】<br>情報モラル教育講座 ー「ひょうご GIGA ワークブック」の活用ー         |                  |
| 6/12<br>(木) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1408】<br>情報セキュリティ講座 ー学校における情報セキュリティー               |                  |
| 9/25<br>(木) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1409】<br>メディア・リテラシー教育講座 ー情報との上手な向き合い方ー             |                  |
| 7/3<br>(木)  | 教職員研修 選択研修【ⅢF1410】<br>Google Workspace 基礎講座                     |                  |
| *           | 教職員研修 選択研修【ⅢF1411】<br>Google Workspace 実践講座                     |                  |
| 7/10<br>(木) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1412】<br>Office365 基礎講座                            |                  |
| *           | 教職員研修 選択研修【ⅢF1413】<br>Office365 実践講座                            |                  |

※ 6/30（月）の詳細（日程、持参物等）については、県立総合教育センターの高校教育研修課中堅教諭等資質向上研修の Web サイトで確認してください。5月下旬に掲載予定です。

※ 太枠内の選択研修は、『令和7年度 教職員研修のしおり』の p79 を参照し、各自で受講申込を行ってください。その際、日程の欄に\*印のある講座は複数日程から1日を選択し受講してください。また、開催要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約1か月前に掲載予定です。

※ 教科指導研修として「生成 AI の利活用講座」、「情報モラル教育講座」、「情報セキュリティ講座」、「メディア・リテラシー教育講座」、「Google Workspace 基礎講座」、「Google Workspace 実践講座」、「Office365 基礎講座」、「Office365 実践講座」のいずれか1つの講座を選択してください。なお、教科指導研修として選択した講座を教育課題研修として二重に選択することはできません。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 660 円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。

|                   |        |
|-------------------|--------|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 芸術（美術） |
| 教科指導研修            |        |

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 新学習指導要領の実施にあたり、見えてきた成果や課題を検証する。
- (2) 芸術科（美術）における評価規準の作成及び評価の計画について理解する。

| 日程          | 研修内容                                                      |                         |
|-------------|-----------------------------------------------------------|-------------------------|
| 6/30<br>(月) | 教科指導研修①                                                   |                         |
|             | 午前<br>・指導と評価の一体化（教科横断）                                    | 午後<br>・効果的な授業研究の手法（教科別） |
| 8/6<br>(水)  | 教科指導研修②<br>鑑賞の学習に関する成果と課題                                 |                         |
| 8/8<br>(金)  | 教職員研修 選択研修【ⅢC1310】<br>(高)芸術科（美術）教育講座 ー文化芸術活動の充実をめざす授業づくりー |                         |
| 7/17<br>(木) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1406】<br>生成 AI の利活用講座 ー校務や教育活動での効果的な活用ー      |                         |
| 6/20<br>(金) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1407】<br>情報モラル教育講座 ー「ひょうご GIGA ワークブック」の活用ー   |                         |
| 6/12<br>(木) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1408】<br>情報セキュリティ講座 ー学校における情報セキュリティーー        |                         |
| 9/25<br>(木) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1409】<br>メディア・リテラシー教育講座 ー情報との上手な向き合い方ー       |                         |
| 7/3<br>(木)  | 教職員研修 選択研修【ⅢF1410】<br>Google Workspace 基礎講座               |                         |
| *           | 教職員研修 選択研修【ⅢF1411】<br>Google Workspace 実践講座               |                         |
| 7/10<br>(木) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1412】<br>Office365 基礎講座                      |                         |
| *           | 教職員研修 選択研修【ⅢF1413】<br>Office365 実践講座                      |                         |

※ 6/30（月）の詳細（日程、持参物等）については、県立総合教育センターの高校教育研修課中堅教諭等資質向上研修の Web サイトで確認してください。5月下旬に掲載予定です。

※ 太枠内の選択研修は、『令和7年度 教職員研修のしおり』の p79 を参照し、各自で受講申込を行ってください。その際、日程の欄に\*印のある講座は複数日程から1日を選択し受講してください。また、開催要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約1か月前に掲載予定です。

※ 教科指導研修として「生成 AI の利活用講座」、「情報モラル教育講座」、「情報セキュリティ講座」、「メディア・リテラシー教育講座」、「Google Workspace 基礎講座」、「Google Workspace 実践講座」、「Office365 基礎講座」、「Office365 実践講座」のいずれか1つの講座を選択してください。なお、教科指導研修として選択した講座を教育課題研修として二重に選択することはできません。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 660 円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。

|                   |        |
|-------------------|--------|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 芸術（書道） |
| 教科指導研修            |        |

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 書道におけるICTの効果的な活用方法について理解する。
- (2) 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりについて理解する。

| 日程          | 研修内容                                                         |                  |
|-------------|--------------------------------------------------------------|------------------|
| 6/30<br>(月) | 教科指導研修①                                                      |                  |
|             | 午前<br>・指導と評価の一体化（教科横断）                                       | 午後<br>・教員の自律的な学び |
| 7/17<br>(木) | 教職員研修 選択研修【III C1311】<br>(高)芸術科(書道)教育講座 ―文化芸術活動の充実をめざす授業づくり― |                  |
| 8/6<br>(水)  | 教科指導研修②<br>―効果的な授業研究の手法について―                                 |                  |
| 6/20<br>(金) | 教職員研修 選択研修【III F1407】<br>情報モラル教育講座 ―「ひょうご GIGA ワークブック」の活用―   |                  |
| 6/12<br>(木) | 教職員研修 選択研修【III F1408】<br>情報セキュリティ講座 ―学校における情報セキュリティ―         |                  |
| 9/25<br>(木) | 教職員研修 選択研修【III F1409】<br>メディア・リテラシー教育講座 ―情報との上手な向き合い方―       |                  |
| 7/3<br>(木)  | 教職員研修 選択研修【III F1410】<br>Google Workspace 基礎講座               |                  |
| *           | 教職員研修 選択研修【III F1411】<br>Google Workspace 実践講座               |                  |
| 7/10<br>(木) | 教職員研修 選択研修【III F1412】<br>Office365 基礎講座                      |                  |
| *           | 教職員研修 選択研修【III F1413】<br>Office365 実践講座                      |                  |

※ 6/30（月）の詳細（日程、持参物等）については、県立総合教育センターの高校教育研修課中堅教諭等資質向上研修のWebサイトで確認してください。5月下旬に掲載予定です。

※ 太枠内の選択研修は、『令和7年度 教職員研修のしおり』のp79を参照し、各自で受講申込を行ってください。その際、日程の欄に\*印のある講座は複数日程から1日を選択し受講してください。また、開催要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約1か月前に掲載予定です。

※ 教科指導研修として「情報モラル教育講座」、「情報セキュリティ講座」、「メディア・リテラシー教育講座」、「Google Workspace 基礎講座」、「Google Workspace 実践講座」、「Office365 基礎講座」、「Office365 実践講座」のいずれか1つの講座を選択してください。なお、教科指導研修として選択した講座を教育課題研修として二重に選択することはできません。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 660 円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。

|                   |         |
|-------------------|---------|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 外国語（英語） |
| 教科指導研修            |         |

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 生徒の言語知識・言語運用能力を測るために必要な基本的概念について理解する。
- (2) 生徒の言語知識・言語運用能力を測る評価方法について理解する。
- (3) 様々な学習場面に応じた効果的なICTの活用について理解する。
- (4) 主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善の方法について理解する。

| 日程          | 研修内容                                   |                                   |
|-------------|----------------------------------------|-----------------------------------|
| 7/4<br>(金)  | 教科指導研修①                                |                                   |
|             | 午前<br>・指導と評価の一体化（教科横断）                 | 午後<br>ーコミュニケーションを図る資質・能力の育成に向けて①ー |
| 8/7<br>(木)  | 教科指導研修②<br>ーコミュニケーションを図る資質・能力の育成に向けて②ー |                                   |
| 10/7<br>(火) | 教科指導研修③<br>ーコミュニケーションを図る資質・能力の育成に向けて③ー |                                   |
| 11/5<br>(水) | 教科指導研修④<br>ーコミュニケーションを図る資質・能力の育成に向けて④ー |                                   |

※ 7/4（金）の詳細（日程、持参物等）については、県立総合教育センターの高校教育研修課中堅教諭等資質向上研修の Web サイトで確認してください。5月下旬に掲載予定です。

#### ※ 教科指導研修の持参物

各回共通：授業で使用している教科書、副教材等

② 実施済の定期考査問題（考査1回分を5部印刷して持参）、勤務校の Can-do リスト

③ ICT を活用した授業および学習活動を撮影した動画（10分程度に編集したもの）

詳細については、教科指導研修②で連絡します。

④ 指導に使用している教科書や教材、生徒に提出させている課題（データで持参も可）

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 660 円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。

|                   |     |
|-------------------|-----|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 家 庭 |
| 教科指導研修            |     |

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 学習指導要領家庭の目標を理解し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせた授業の在り方を考察できる。
- (2) 家庭科における個別最適な学びと協働的な学びについて理解する。
- (3) 新学習指導要領に対応した教材作りを通して主体的・対話的で深い学びの実践力をつける。
- (4) 主体的・対話的で深い学びを実現するためのタブレット端末の活用について理解する。

| 日程          | 研修内容                                                    |                         |
|-------------|---------------------------------------------------------|-------------------------|
| 7/4<br>(金)  | 教科指導研修①                                                 |                         |
|             | 午前<br>・指導と評価の一体化（教科横断）                                  | 午後<br>・一連の学習過程を意識した単元計画 |
| 7/25<br>(金) | 教職員研修 選択研修【ⅢC1312】<br>(中高)家庭科教育講座 ―実践的・体験的な学習活動の創造―     |                         |
| 8/7<br>(木)  | 教科指導研修②<br>学習指導要領を踏まえた授業改善 ―生徒の主体的な学習を促す教材の工夫―          |                         |
| 7/17<br>(木) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1406】<br>生成 AI の利活用講座 ―校務や教育活動での効果的な活用―    |                         |
| 6/20<br>(金) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1407】<br>情報モラル教育講座 ―「ひょうご GIGA ワークブック」の活用― |                         |
| 6/12<br>(木) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1408】<br>情報セキュリティ講座 ―学校における情報セキュリティー―      |                         |
| 9/25<br>(木) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1409】<br>メディア・リテラシー教育講座 ―情報との上手な向き合い方―     |                         |
| 7/3<br>(木)  | 教職員研修 選択研修【ⅢF1410】<br>Google Workspace 基礎講座             |                         |
| *           | 教職員研修 選択研修【ⅢF1411】<br>Google Workspace 実践講座             |                         |
| 7/10<br>(木) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1412】<br>Office365 基礎講座                    |                         |
| *           | 教職員研修 選択研修【ⅢF1413】<br>Office365 実践講座                    |                         |

※ 7/4（金）の詳細（日程、持参物等）については、県立総合教育センターの高校教育研修課中堅教諭等資質向上研修の Web サイトで確認してください。5 月下旬に掲載予定です。

※ 太枠内の選択研修は、『令和7年度 教職員研修のしおり』の p79 を参照し、各自で受講申込を行ってください。その際、日程の欄に\*印のある講座は複数日程から1日を選択し受講してください。また、開催要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約1か月前に掲載予定です。

※ 教科指導研修として「生成 AI の利活用講座」、「情報モラル教育講座」、「情報セキュリティ講座」、「メディア・リテラシー教育講座」、「Google Workspace 基礎講座」、「Google Workspace 実践講座」、「Office365 基礎講座」、「Office365 実践講座」のいずれか1つの講座を選択してください。なお、教科指導研修として選択した講座を教育課題研修として二重に選択することはできません。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 660 円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。

|                   |     |
|-------------------|-----|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 情 報 |
| 教科指導研修            |     |

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 共通教科情報科の各科目を指導する上で必要な知識や技術を習得する。
- (2) 情報活用能力を育成するための演習を行う上で、必要な知識や技能を習得する。
- (3) これからの情報科教育について理解し、中堅教諭として自らの役割について考える。

| 日程          | 研修内容                                                                     |                         |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------|-------------------------|
| 6/30<br>(月) | 教科指導研修①                                                                  |                         |
|             | 午前<br>・指導と評価の一体化（教科横断）                                                   | 午後<br>・情報科における観点別評価について |
| 8/7<br>(木)  | 教職員研修 選択研修【ⅢC1314】（データベース、機械学習）<br>（高）情報科教育講座B ー探究的な学びを充実させる「情報Ⅱ」の授業づくりー |                         |
| 10/6<br>(月) | 教科指導研修③<br>・これからの情報科の授業づくりー「情報Ⅱ」につながる学びー                                 |                         |
| 11/4<br>(火) | 教科指導研修④<br>・探究的な学習活動を通して学ぶ授業づくりー専門教科情報科から学ぶー                             |                         |

※ 6/30（月）の詳細（日程、持参物等）については、県立総合教育センターの高校教育研修課中堅教諭等資質向上研修の Web サイトで確認してください。5月下旬に掲載予定です。

※ 6/30（月）の持参物

- ・高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説（情報編）
- ・「情報Ⅰ」教科書

※ 太枠内の選択研修は、『令和7年度 教職員研修のしおり』の p79 を参照し、各自で受講申込を行ってください。また、開催要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約1か月前に掲載予定です。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 660 円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。

|                   |       |
|-------------------|-------|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 農業・水産 |
| 教科指導研修            |       |

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 実習における「主体的に取り組む態度」の評価方法について理解する。
- (2) 探究的な学びを実現する課題研究の在り方について理解する。
- (3) 農業教育に求められる安全管理と事故防止に必要な知識・技術について理解する。
- (4) 地域資源の役割や今日的な課題について理解する。
- (5) 地域資源を活用した学習展開の方法について理解する。

| 日程           | 研修内容                                                                                              |                                       |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 6/30<br>(月)  | 教科指導研修①                                                                                           |                                       |
|              | 午前<br>・指導と評価の一体化（教科横断）                                                                            | 午後<br>・実習における「主体的に取り組む態度」の評価について（教科別） |
| 8/4<br>(月)   | 教職員研修 選択研修【ⅢC1315】 会場：県立農林水産技術総合センター<br>：県立農業大学校<br>(高)農業科・水産科教育講座A ー施設・設備の安全管理と事故防止に必要な実習指導に向けてー |                                       |
| 8/6<br>(水)   | 教科指導研修③<br>ー農業に関する課題を発見し、解決策を探究する授業づくりー                                                           |                                       |
| 10/16<br>(木) | 教職員研修 選択研修【ⅢC1316】<br>(高)農業科・水産科教育講座B ー地域資源を活用した授業づくりー                                            |                                       |

※ 6/30（月）の詳細（日程、持参物等）については、県立総合教育センターの高校教育研修課中堅教諭等資質向上研修の Web サイトで確認してください。5月下旬に掲載予定です。

※ 8/4（月）及び 10/16（木）の詳細（日程、持参物等）については、県立総合教育センターの高校教育研修課中堅教諭等資質向上研修の Web サイトで確認してください。7月上旬に掲載予定です。

※ 8/6（水）の持参物

- ・筆記具
- ・高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 農業編（農業科）、水産編（水産科）
- ・「課題研究」で使用している教科書・副教材

※ 太枠内の選択研修は、『令和7年度 教職員研修のしおり』の p79 を参照し、各自で受講申込を行ってください。また、開催要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約1か月前に掲載予定です。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 660 円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。

|                   |     |
|-------------------|-----|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 工 業 |
| 教科指導研修            |     |

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 工業各科におけるものづくりについて考え、各科の連携について理解する。
- (2) 安全教育についてその手法を習得し、実習等で活用する。
- (3) 工業科の特性に応じた安全管理について理解する。
- (4) これからの工業教育について理解し、中堅教諭として自らの役割について考える。

| 日程           | 研修内容                                                           |                      |
|--------------|----------------------------------------------------------------|----------------------|
| 7/4<br>(金)   | 教科指導研修①                                                        |                      |
|              | 午前<br>・指導と評価の一体化（教科横断）                                         | 午後<br>工業教育における探究的な学び |
| 8/7<br>(木)   | 教科指導研修②<br>・これからの工業教育について－「在りたい未来」を創造する力の育成－                   |                      |
| 10/27<br>(月) | 教科指導研修③ 教職員研修 選択研修【ⅢC1317】<br>(高)工業科教育講座A ー工業教育の充実に向けてー        |                      |
| 12月<br>月上旬   | 教科指導研修④（会場：県立工業高校）【(高)工業科教育講座B と同日開催】<br>・ものづくりを通した工業教育の充実に向けて |                      |

※ 7/4（金）の詳細（日程、持参物等）については、県立総合教育センターの高校教育研修課中堅教諭等資質向上研修の Web サイトで確認してください。5月下旬に掲載予定です。

※ 太枠内の選択研修は、『令和7年度 教職員研修のしおり』の p79 を参照し、各自で受講申込を行ってください。また、開催要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約1か月前に掲載予定です。

※ 12月上旬の教科指導研修④の持参物及び日程等詳細については、10/27（月）の教科指導研修③でお伝えします。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 660 円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。

|                   |     |
|-------------------|-----|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 商 業 |
| 教科指導研修            |     |

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 学習指導要領で求められるマーケティング分野の指導法について、理解する。
- (2) 課題解決をめざすビジネスや教育活動について、理解する。
- (3) 学習指導要領で求められる簿記会計分野の指導のあり方について、理解する。
- (4) 学習指導要領で求められるビジネス情報分野の指導のあり方について、理解する。
- (5) 共通教科情報科の代替科目としての情報処理の指導のあり方について、理解する。

| 日程           | 研修内容                                                                    |               |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 7/4<br>(金)   | 教科指導研修①                                                                 |               |
|              | 午前<br>・指導と評価の一体化（教科横断）                                                  | 午後<br>・探究的な学習 |
| 8/4<br>(月)   | 教職員研修 選択研修【ⅢC1319】（会場：県立姫路商業高等学校）<br>（高）商業科教育講座A ー特色ある職業教育に学ぶー          |               |
| 10月<br>下旬    | 教職員研修 選択研修【ⅢC1320】（会場：県立神戸商業高等学校）<br>（高）商業科教育講座B ーひょうごリーダーハイスクールの取組に学ぶー |               |
| 10/29<br>(水) | 教職員研修 選択研修【ⅢC1313】<br>（高）情報科教育講座A ー問題解決能力を育成する「情報Ⅰ」の授業づくりー              |               |

※ 7/4（金）の詳細（日程、持参物等）については、県立総合教育センターの高校教育研修課中堅教諭等資質向上研修の Web サイトで確認してください。5月下旬に掲載予定です。

※ 太枠内の選択研修は、『令和7年度 教職員研修のしおり』の p79 を参照し、各自で受講申込を行ってください。また、開催要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約1か月前に掲載予定です。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください（（高）商業科教育講座A、（高）商業科教育講座Bは除く）。食事代金 660 円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。

|                   |     |
|-------------------|-----|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 看 護 |
| 教科指導研修            |     |

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 生徒の主体的な学びを実現するための授業改善について理解する。
- (2) 看護科における指導と評価の工夫について理解する。

| 日程          | 研修内容                                                    |                  |
|-------------|---------------------------------------------------------|------------------|
| 6/30<br>(月) | 教科指導研修①                                                 |                  |
|             | 午前<br>・指導と評価の一体化（教科横断）                                  | 午後<br>・教員の自律的な学び |
| 8/6<br>(水)  | 教科指導研修②<br>－効果的な授業研究の手法について－                            |                  |
| 9/19<br>(金) | 教職員研修 選択研修【ⅢC1321】<br>(高)看護科教育講座 ー実践的・体験的な学習活動の充実ー      |                  |
| 7/17<br>(木) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1406】<br>生成 AI の利活用講座 ー校務や教育活動での効果的な活用ー    |                  |
| 6/20<br>(金) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1407】<br>情報モラル教育講座 ー「ひょうご GIGA ワークブック」の活用ー |                  |
| 6/12<br>(木) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1408】<br>情報セキュリティ講座 ー学校における情報セキュリティー       |                  |
| 9/25<br>(木) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1409】<br>メディア・リテラシー教育講座 ー情報との上手な向き合い方ー     |                  |
| 7/3<br>(木)  | 教職員研修 選択研修【ⅢF1410】<br>Google Workspace 基礎講座             |                  |
| *           | 教職員研修 選択研修【ⅢF1411】<br>Google Workspace 実践講座             |                  |
| 7/10<br>(木) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1412】<br>Office365 基礎講座                    |                  |
| *           | 教職員研修 選択研修【ⅢF1413】<br>Office365 実践講座                    |                  |

※ 6/30（月）の詳細（日程、持参物等）については、県立総合教育センターの高校教育研修課中堅教諭等資質向上研修の Web サイトで確認してください。5月下旬に掲載予定です。

※ 太枠内の選択研修は、『令和7年度 教職員研修のしおり』の p79 を参照し、各自で受講申込を行ってください。その際、日程の欄に\*印のある講座は複数日程から1日を選択し受講してください。また、開催要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約1か月前に掲載予定です。

※ 教科指導研修として「生成 AI の利活用講座」、「情報モラル教育講座」、「情報セキュリティ講座」、「メディア・リテラシー教育講座」、「Google Workspace 基礎講座」、「Google Workspace 実践講座」、「Office365 基礎講座」、「Office365 実践講座」のいずれか1つの講座を選択してください。なお、教科指導研修として選択した講座を教育課題研修として二重に選択することはできません。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 660 円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。

|                   |     |
|-------------------|-----|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 福 祉 |
| 教科指導研修            |     |

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 福祉科の学習指導要領の趣旨や要点を理解する。
- (2) 実践につながる「介護過程」の授業づくりの工夫について理解する。
- (3) 主体的・対話的で深い学びを実現する授業の在り方について理解する。

| 日程          | 研修内容                                                    |                  |
|-------------|---------------------------------------------------------|------------------|
| 6/30<br>(月) | 教科指導研修①                                                 |                  |
|             | 午前<br>・指導と評価の一体化（教科横断）                                  | 午後<br>・教員の自律的な学び |
| 8/6<br>(水)  | 教科指導研修②<br>－効果的な授業研究の手法について－                            |                  |
| 9/9<br>(火)  | 教職員研修 選択研修【ⅢC1322】<br>(高)福祉科教育講座 ー実践的・体験的な学習活動の充実ー      |                  |
| 7/17<br>(木) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1406】<br>生成 AI の利活用講座 ー校務や教育活動での効果的な活用ー    |                  |
| 6/20<br>(金) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1407】<br>情報モラル教育講座 ー「ひょうご GIGA ワークブック」の活用ー |                  |
| 6/12<br>(木) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1408】<br>情報セキュリティ講座 ー学校における情報セキュリティー       |                  |
| 9/25<br>(木) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1409】<br>メディア・リテラシー教育講座 ー情報との上手な向き合い方ー     |                  |
| 7/3<br>(木)  | 教職員研修 選択研修【ⅢF1410】<br>Google Workspace 基礎講座             |                  |
| *           | 教職員研修 選択研修【ⅢF1411】<br>Google Workspace 実践講座             |                  |
| 7/10<br>(木) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1412】<br>Office365 基礎講座                    |                  |
| *           | 教職員研修 選択研修【ⅢF1413】<br>Office365 実践講座                    |                  |

※ 6/30（月）の詳細（日程、持参物等）については、県立総合教育センターの高校教育研修課中堅教諭等資質向上研修の Web サイトで確認してください。5月下旬に掲載予定です。

※ 太枠内の選択研修は、『令和7年度 教職員研修のしおり』の p79 を参照し、各自で受講申込を行ってください。その際、日程の欄に\*印のある講座は複数日程から1日を選択し受講してください。また、開催要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約1か月前に掲載予定です。

※ 教科指導研修として「生成 AI の利活用講座」、「情報モラル教育講座」、「情報セキュリティ講座」、「メディア・リテラシー教育講座」、「Google Workspace 基礎講座」、「Google Workspace 実践講座」、「Office365 基礎講座」、「Office365 実践講座」のいずれか1つの講座を選択してください。なお、教科指導研修として選択した講座を教育課題研修として二重に選択することはできません。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 660 円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。

|                   |        |
|-------------------|--------|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 神戸女子大学 |
| 教育課題研修(生徒指導)      |        |

場所 神戸女子大学 須磨キャンパス（神戸市須磨区東須磨青山2-1）（予定）

| 月日          | 時間    | 内 容                                                                                                                | 講 師                                 |
|-------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 8/28<br>(木) | 10:00 | 講義「令和の時代に求められる生徒指導」<br>子どもの世界をみつめ、複雑化・困難化する教育課題を整理する。改訂版の生徒指導提要や最新事例から、教員の授業力・指導力・教師力を問い直す。そのうえで、学校力のあり方をともに考えたい。  | 神戸女子大学<br>特任教授 宮本 晃郎<br>(教職論・生徒指導論) |
|             | 11:30 |                                                                                                                    |                                     |
|             | 12:30 | 講義・演習「困難課題と新たな学校づくり」<br>いじめや暴力行為、指導不服従、不登校、虐待等の具体事例をもとに対応策を協議し、自校の取組を振り返る。子ども第一主義を軸に協働・協創の精神で新たな学校づくりを進める具体策を探りたい。 | 神戸女子大学<br>特任教授 宮本 晃郎<br>(教職論・生徒指導論) |
|             | 14:00 |                                                                                                                    |                                     |
|             | 14:15 | 講義・演習「生徒指導と危機対応」<br>生徒の安心安全を確保するため危機管理の視点から、学校現場における具体的事例をもとに、自校において起こりうる危機やその問題点、対応策を考え、今後に生かす契機とする。              | 神戸女子大学<br>特任教授 宮垣 寛<br>(教職論・教育課程論)  |
| 8/29<br>(金) | 15:45 |                                                                                                                    |                                     |
|             | 10:00 | 講義・演習「教育課程と生徒指導」<br>子ども一人一人の可能性を最大限伸ばしていく教育が求められている中での生徒指導の意味を踏まえ、具体的事例をもとに、学校全体で進める生徒指導の在り方を考えるきっかけとする。           | 神戸女子大学<br>特任教授 宮垣 寛<br>(教職論・教育課程論)  |
|             | 11:30 |                                                                                                                    |                                     |
|             | 12:30 | グループワーク「支援ニーズの理解と進路・生徒指導一歩路・但馬地区高校通級指導から」<br>支援ニーズのある子どもを理解した生徒指導について講義とグループワークで学び合う。高等学校の通級についても共有する。             | 神戸女子大学<br>教授 谷山 優子<br>(特別支援教育・教育相談) |
|             | 14:00 |                                                                                                                    |                                     |
|             | 14:15 | グループワーク「多様な子ども一人一人の学びを引き出す授業」<br>グループで模擬授業を行い、すべての子どもたちの可能性を引き出し、これからの社会を生きる力を育む授業のポイントや工夫について、実践的に学び合う。           | 神戸女子大学<br>教授 谷山 優子<br>(特別支援教育・教育相談) |
|             | 15:45 |                                                                                                                    |                                     |

※ 実施教室 A館4階409教室 または 図書館1階ラーニング・コモンズ（予定）

※ 受付場所 A館4階409教室前（予定）

※ 受付開始 9:30

※ 講義終了 15:45

※ 持参物 筆記用具、昼食

※ 交通手段 JR須磨駅、山陽須磨駅から神戸市バス71・72・75系統「高倉台南口」（約15分）で下車、徒歩3分。学内には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

※ 学内はすべて禁煙です。

※ 特別警報発表等非常時は県立総合教育センターと神戸女子大学の気象警報発表時の取扱により研修を中止する場合があります。研修を中止する場合は、県立総合教育センター高校教育研修課の中堅教諭等資質向上研修のWebサイトでお知らせします。

|                   |        |
|-------------------|--------|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 神戸親和大学 |
| 教育課題研修(生徒指導)      |        |

場所 県立総合教育センター（加東市山国2006-107）

| 月日         | 時間    | 内 容                                                                                                                       | 講 師                            |
|------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 8/4<br>(月) | 10:00 | 講義・グループワーク<br>「生徒理解に基づく生徒指導の在り方」<br><br>(概要)<br>児童・生徒が自身を肯定的に捉え豊かな人間性をはぐくむことを可能とする様々な要因について参加者とともに考察する機会としたい。             | 神戸親和大学 教育学部<br>教育学科教授<br>竹内 弘明 |
|            | 12:30 |                                                                                                                           |                                |
|            | 13:30 | 講義・グループワーク<br>「様々な生徒指導案件と対応事例」<br><br>(概要)<br>実際に起こり得る生徒指導案件について、午前中の講義等を踏まえながら、その対応を参加者とともに検証する機会としたい。                   | 神戸親和大学 教育学部<br>教育学科教授<br>竹内 弘明 |
|            | 16:00 |                                                                                                                           |                                |
| 8/5<br>(火) | 10:00 | 講義・グループワーク<br>「生徒指導と教育相談」<br><br>(概要)<br>不登校やいじめなど生徒の行動とその背景にあるものを理解しつつ、育てる生徒指導を行うための相談・助言の在り方について、参加者とともに考える機会としたい。      | 神戸親和大学 教育学部<br>教育学科教授<br>富田 哲浩 |
|            | 12:30 |                                                                                                                           |                                |
|            | 13:30 | 講義・グループワーク<br>「重篤な事案にならないための対応力とは」<br><br>(概要)<br>いじめや自死など生徒の生命に関わる事案に対する教員としての対応力の強化と、組織体制や連携の在り方について、想定事例をもとに考える機会としたい。 | 神戸親和大学 教育学部<br>教育学科教授<br>富田 哲浩 |
|            | 16:00 |                                                                                                                           |                                |

※ 受付場所 県立総合教育センター

※ 受付開始 9:30 【※原則、9:30 より受付を開始します。】

※ 講義終了 16:00

※ 持参物 筆記用具、名札

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 660 円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。

※ 特別警報発表等非常時は県立総合教育センターの取扱規定により研修を中止する場合があります。研修を中止する場合は、県立総合教育センター高校教育研修課の中堅教諭等資質向上研修の Web サイトでお知らせします。

|                   |         |
|-------------------|---------|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 武庫川女子大学 |
| 教育課題研修(生徒指導)      |         |

実施形態：オンライン（VOD）

| 月 日                      | 時間          | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                           | 講 師                                     |
|--------------------------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 8 / 1<br>(金)<br>から<br>配信 | 120 分<br>程度 | 講義<br>学校文化・生徒文化論から生徒指導を考えるーイギリスとの対比を軸に<br>概要<br>本講義では、教育社会学的な観点から生徒指導というものを論じたい。時代や国によって、教育のあり方には大きな違いがある。生徒に対していかに接するかという生徒指導の領域においても、同様である。ここでは、集団主義と個人主義という言葉で語られてきた、日本とイギリスの学校文化の違い、そこから生じる生徒文化のありようの差異をベースにして、今日の日本の高校における生徒指導の諸課題について検討を加えたい。                           | 武庫川女子大学<br>教授 志水宏吉<br>(教育社会学、<br>学校臨床学) |
|                          | 120 分<br>程度 | 講義「生徒指導と授業づくり・・・3つのテーマに即して」<br>概要<br>第1テーマ：with コロナ時代における児童・生徒の問題状況ーとくに不登校（長期欠席）といじめ問題に焦点をあてて<br>第2テーマ：児童・生徒どうしの関係性と対話的な学習<br>第3テーマ：目標の立て方とリフレクション<br>生徒指導と授業づくりをつなぐもの（自律的な学習を目指して）                                                                                           | 武庫川女子大学<br>教授 森脇 健夫<br>(教育実践学)          |
| 8 / 1<br>(金)<br>から<br>配信 | 120 分<br>程度 | 講義<br>「多様性と自己理解」<br>概要<br>多様性（ダイバーシティ）が、国や文化を超えて、個人から社会まであらゆるレベルで語られている。生徒指導においても多様性に関する理解は不可欠だが、その基本には教員自身の自己理解が求められる。生徒だけでなく、自分とは異なる境遇で生きる教員仲間への配慮にもつながるよう、本講義では多様性に関する知識の獲得と自己理解を試みる。                                                                                      | 武庫川女子大学<br>准教授 中尾 賀要子<br>(社会福祉学)        |
|                          | 120 分<br>程度 | 講義<br>「神経発達症の理解と支援のブレークスルーを目指して」<br>概要<br>神経発達症への認知が広まる中、自閉スペクトラム症は社会コミュニケーションの、注意欠如・多動症は実行機能・報酬系・時間処理の、限局性学習症は情報処理・認知プロセスという脳機能の発達の問題という理解で、医療・療育、特別支援教育や合理的配慮、さまざまな支援、研究が進められている。しかし、近年、感覚や協調（運動）などの身体性が社会性などの基盤となっていることが明らかとなってきた。本講義が今後の神経発達症の理解や支援のありかたを問い直す機会となれば幸いである。 | 武庫川女子大学<br>教授 中井 昭夫<br>(発達行動小児科学)       |

※それぞれの講座について、課題があります。動画の配信方法や課題の提出方法については後日お知らせします。

|                   |        |
|-------------------|--------|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 関西学院大学 |
| 教育課題研修(生徒指導)      |        |

場所 関西学院大学（西宮市上ヶ原一番町1-155）

| 月日          | 時間    | 内 容                                | 講 師                                                                       |
|-------------|-------|------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 8/25<br>(月) | 10:30 | 講義<br>「よい子」へのまなざしと教育<br>相談」        | 関西学院大学大学院文学研究科准教授<br>関西学院大学教職教育研究センター准教授<br><br>荻田 純久                     |
|             | 11:40 |                                    |                                                                           |
|             | 12:40 | 講義<br>「子どもの現在と生徒指導」                | 関西学院大学大学院文学研究科教授<br>関西学院大学教職教育研究センター教授<br><br>白銀 夏樹                       |
|             | 13:50 |                                    |                                                                           |
|             | 14:00 | グループワーク<br>まとめ                     | 関西学院大学大学院文学研究科教授<br>関西学院大学教職教育研究センター教授<br><br>白銀 夏樹                       |
| 8/26<br>(火) | 15:45 |                                    |                                                                           |
|             | 10:30 | 講義<br>「学級経営と生徒指導」                  | 関西学院大学大学院文学研究科教授<br>関西学院大学教職教育研究センター教授<br>関西学院大学教職教育研究センター長<br><br>久保田 真功 |
|             | 11:40 |                                    |                                                                           |
|             | 12:40 | 講義<br>「生徒指導とコミュニケーション<br>ーこころを心でー」 | 関西学院大学大学院文学研究科教授<br>関西学院大学教職教育研究センター教授<br><br>小谷 正登                       |
|             | 13:50 |                                    |                                                                           |
| 8/26<br>(火) | 14:00 | グループワーク<br>まとめ                     | 関西学院大学大学院文学研究科教授<br>関西学院大学教職教育研究センター教授<br><br>小谷 正登                       |
|             | 15:45 |                                    |                                                                           |

※ 受付場所 G号館3F入口前

※ 受付開始 10:00

※ 講義終了 15:45

※ 持参物 筆記具

※ 昼食は各自でご用意ください。食堂等も利用していただけます。

※ 研修会場には駐車場がありませんので、会場へは公共交通機関を利用してください。

※ 特別警報発表等非常時は県立総合教育センターと関西学院大学の取扱規定により研修を中止する場合があります。研修を中止する場合は、県立総合教育センター高校教育研修課の中堅教諭等資質向上研修のWebサイトでお知らせします。

|                   |        |
|-------------------|--------|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 兵庫教育大学 |
| 教育課題研修(生徒指導)      |        |

場所 兵庫教育大学（〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1）

| 月日          | 内 容（予定）                                                                                                                                                                                                                               | 講 師                    |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| 7/25<br>(金) | <p>講義・演習<br/>「ポジティブ心理学から考える発達支持的生徒指導 - 強み、キャリア、ウェルビーイング -」</p> <p>概要<br/>発達支持的生徒指導は、特定の課題を意識することなく、すべての生徒を対象としてよさや可能性を見つけ伸ばし自己実現の達成を支援する積極的、先行的な取組みである。本講義では、強み（ストレングス）アプローチに基づいて、生徒の主体的な自己形成を支援する方法のレクチャーと演習を行い、実践のヒントを得ることを目指す。</p> | 兵庫教育大学大学院<br>准教授 森本 哲介 |
| 8/18<br>(月) | <p>講義・演習<br/>「教師のためのストレスマネジメント」</p> <p>概要<br/>リラクセーションを体験ベースに、ストレスと付き合い上手になるためのストレス理解と自身のストレスへの気づきに関するレクチャーと演習を行う。</p>                                                                                                                | 兵庫教育大学<br>名誉教授 藤原 忠雄   |

※ 実施教室 兵庫教育大学 総合研究棟 3階 大会議室

※ 受付場所 兵庫教育大学 総合研究棟 3階 大会議室

※ 受付開始 10:00

※ 講義時間 10:30～16:00

※ 持 参 物 筆記具、名札、昼食（大学の食堂も利用できます）

「教師のためのストレスマネジメント」

・当日はリラックスできる服装でお越しください。ハイヒール等は避けて下さい。

※ 特別警報発表等非常時は県立総合教育センターと兵庫教育大学の気象警報発表時の取扱により研修を中止する場合があります。研修を中止する場合は、県立総合教育センター高校教育研修課の中堅教諭等資質向上研修の Web サイトでお知らせします。

|                   |      |
|-------------------|------|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 甲南大学 |
| 教育課題研修(生徒指導)      |      |

場所 甲南大学 岡本キャンパス (神戸市東灘区岡本 8-9-1)

| 月日          | 時間    | 内容                                                                                                      | 講師                                            |
|-------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 8/25<br>(月) | 10:00 | 講義・ワーク<br>「不登校の現状と具体的な対応について」<br>不登校の実態とその背景にある要因を知るとともに、事例検討等を通して不登校の早期発見の方法などを理解する。義務教育段階での取組事例を紹介する。 | 甲南大学<br>特任教授 八木 眞由美<br>(教育方法・教育課程・教育行政・教育社会学) |
|             | 11:30 |                                                                                                         |                                               |
|             | 12:30 | 講義<br>「脳科学の知見からの生徒理解と生徒指導」<br>脳科学の結果から、生徒をどう理解し、どのような生徒指導をすべきかを考える。                                     | 甲南大学<br>教授 定金 浩一<br>(生徒指導法・特別支援教育・教育相談・教育心理)  |
|             | 14:00 |                                                                                                         |                                               |
|             | 14:15 | 講義・ワーク<br>「いじめを防止するための社会心理学」<br>いじめ発生のメカニズムを学級集団という視点から理解し、社会心理学的にその防止について考える。                          | 甲南大学<br>教授 大西 彩子<br>(社会心理学・臨床心理学)             |
| 8/26<br>(火) | 15:45 |                                                                                                         |                                               |
|             | 10:00 | 講義・ワーク<br>「学校におけるいじめに対する具体的な対応について」<br>いじめの早期発見・早期対応の重要性に鑑み、生徒の思いに共感するために、演習などを通して、基本的ないじめへの対応力を考える。    | 甲南大学<br>特任教授 八木 眞由美<br>(教育方法・教育課程・教育行政・教育社会学) |
|             | 11:30 |                                                                                                         |                                               |
|             | 12:30 | 講義<br>「教育相談としての7分面談について」<br>教育相談としての7分面談の理論と具体的な技法を使った面談の実際を解説する。                                       | 甲南大学<br>教授 定金 浩一<br>(生徒指導法・特別支援教育・教育相談・教育心理)  |
|             | 14:00 |                                                                                                         |                                               |
|             | 14:15 | 講義・ワーク<br>「通常学級での発達支援、その理解と対応」<br>通常の学級に在籍する児童・生徒に適切な発達支援をするため、発達障害について理解し、学級で可能な支援について考える。             | 甲南大学<br>教授 大西 彩子<br>(社会心理学・臨床心理学)             |
|             | 15:45 |                                                                                                         |                                               |

※ 実施教室 甲南大学 5号館2階 5-23 教室 (予定)

※ 受付場所 甲南大学 5号館2階 5-23 教室前 (予定)

※ 受付開始 9:30 講義 10:00～15:45

※ 持参物 筆記具

※ 昼食は、各自ご持参ください。

※ 研修会場には駐車場がありませんので、会場へは公共交通機関を利用してください。

※ 特別警報発表等非常時は県立総合教育センターと兵庫教育大学の取扱規定により研修を中止する場合があります。研修を中止する場合は、県立総合教育センター高校教育研修課の中堅教諭等資質向上研修の Web サイトでお知らせします。

|                      |        |
|----------------------|--------|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修    | 県立神出学園 |
| 教育課題研修(生徒指導・カウンセリング) |        |

場所 県立神出学園 多目的ホール (神戸市西区神出町小束野 30)

| 月日         | 時間      | 内 容                                    | 講 師                 | 場 所             |
|------------|---------|----------------------------------------|---------------------|-----------------|
| 8/8<br>(金) | 9 : 45  | 受付                                     |                     | 多目的ホール          |
|            | 10 : 00 | 開講                                     |                     |                 |
|            | 10 : 10 | 講義Ⅰ<br>「神出学園の不登校支援」                    | 県立神出学園<br>主任専門指導員 等 |                 |
|            | 10 : 50 | 講義Ⅱ<br>「子どものこころの理解と支援」                 |                     |                 |
|            | 11 : 50 | 講義Ⅲ<br>「生活支援としての食事」                    |                     |                 |
|            | 12 : 10 | < 休憩 昼食 >                              |                     |                 |
|            | 13 : 10 | グループワーク                                | 県立神出学園<br>主任専門指導員 等 | 多目的ホール          |
|            | 14 : 10 | 講義・演習<br>「神出学園における学園生への支援について」<br>質疑応答 | 県立総合教育センター<br>指導主事  | 多目的ホール<br>特別研究室 |
|            | 16 : 00 | 指導助言・アンケート<br>閉講                       |                     | 多目的ホール          |

- 1 受付場所 県立神出学園 多目的ホール
- 2 受付開始 9 : 45
- 3 持参物 筆記用具、昼食、当日資料（研修日の約1週間前に神出学園のホームページにアップロードします。）
- 4 交通手段 自家用車可
- 5 その他
  - ・特別警報発表等非常時は県立総合教育センターと県立神出学園の取扱規定により研修を中止する場合があります。研修を中止する場合は、県立総合教育センター高校教育研修課の中堅教諭等資質向上研修のWebサイトでお知らせします。
  - ・屋外施設の見学が予定されているため、動きやすい服装で参加してください。また空調の状態によって調節ができる服装で参加してください。

|                   |         |
|-------------------|---------|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | JICA 関西 |
| 教育課題研修(グローバル教育)   |         |

場所 独立行政法人国際協力機構 関西センター(神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2)

| 月日          | 時間    | 研 修 内 容                                   | 講師・助言者                                                         | 研修<br>場所             |
|-------------|-------|-------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|----------------------|
| 8/22<br>(金) | 9:30  | 受付                                        | 高校教育研修課<br>指導主事                                                | 2階<br>ブリーフィング<br>ルーム |
|             | 9:50  |                                           |                                                                |                      |
|             | 10:00 | オリエンテーション<br>・ JICA事業概要説明、研修のねらいや目的       | 独立行政法人 国際協力機構<br>関西国際センター(JICA関西)<br>市民参加協力課<br>開発教育支援事業担当(予定) |                      |
|             |       | JICAの開発教育支援事業の活用<br>・ JICA海外協力隊体験談        | JICA国際協力推進員(予定)                                                |                      |
|             | 12:00 | 館内案内                                      |                                                                |                      |
|             | 12:00 |                                           |                                                                |                      |
|             | 13:00 |                                           |                                                                |                      |
|             | 13:00 | ワークショップ<br>「地球市民(グローバル・シティズン)<br>を育む教育とは」 | 認定NPO法人 開発教育協会(DEAR)<br>代表理事 佐藤 友紀                             |                      |
|             | 14:30 |                                           |                                                                |                      |
|             | 14:30 | JICA海外協力隊経験教職員による実践共有                     | 元 JICA海外協力隊員(予定)                                               |                      |
|             |       |                                           |                                                                |                      |
|             | 15:30 |                                           |                                                                |                      |
|             | 15:40 | 協議「研修の振り返り」                               | 高校教育研修課<br>指導主事                                                |                      |
|             | 16:00 |                                           |                                                                |                      |
|             | 16:00 | 連絡会                                       | 高校教育研修課<br>指導主事                                                |                      |

- 1 受付場所 JICA関西 1階受付
- 2 受付時間 9:30 から 9:50 まで
- 3 持参物 筆記用具、昼食(館内には食堂もあります)
- 4 その他 駐車・駐輪スペースはありません。公共交通機関をご利用ください。  
特別警報発表等非常時は県立総合教育センターと JICA 関西の取扱規定により研修を中止する場合があります。研修を中止する場合は、県立総合教育センター高校教育研修課の中堅教諭等資質向上研修の Web サイトでお知らせします。

|                   |            |
|-------------------|------------|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 県立但馬やまびこの郷 |
| 教育課題研修(生徒指導・不登校)  |            |

場所 県立但馬やまびこの郷（〒669-5135 兵庫県朝来市山東町森字向山 3045-101）

| 月日           | 時間      | 内 容                                              | 講 師                |
|--------------|---------|--------------------------------------------------|--------------------|
| 10/20<br>(月) | 9 : 45  | 受付                                               |                    |
|              | 10 : 00 | 開会<br>挨拶                                         | 県立但馬やまびこの郷<br>所長   |
|              | 10 : 15 | 演習・協議                                            | 県立但馬やまびこの郷<br>指導主事 |
|              | 12 : 15 | < 休憩 昼食 >                                        |                    |
|              | 13 : 15 | 講義Ⅰ<br>「すべての子どもに居場所のある学級づくり<br>～不登校未然防止のために～（仮）」 | 大阪教育大学<br>水野 治久 教授 |
|              | 15 : 00 | 講義Ⅱ                                              | 県立但馬やまびこの郷<br>指導主事 |
|              | 15 : 40 | 全体会<br>閉会行事                                      | 県立但馬やまびこの郷<br>指導主事 |
|              | 16 : 00 | 閉会                                               |                    |

- 1 受付場所 但馬やまびこの郷 虹の館前
- 2 受付時間 9 : 45
- 3 実施場所 但馬やまびこの郷 虹の館
- 4 持参物 筆記用具
- 5 交通手段 自家用車可、JR 播但線「竹田駅」より約4km
- 6 その他
  - ※ 敷地内はすべて禁煙です。
  - ※ 昼食は、各自ご持参ください。
  - ※ 講義Ⅰ・Ⅱの主な内容は、小・中学生の不登校支援についてのものです。
  - ※ 特別警報発表等非常時は県立総合教育センターと県立但馬やまびこの郷の取扱規定により研修を中止する場合があります。研修を中止する場合は、県立総合教育センター高校教育研修課の中堅教諭等資質向上研修の Web サイトでお知らせします。

|                        |        |
|------------------------|--------|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修      | 兵庫教育大学 |
| 教育課題研修<br>(教師の学びのサイクル) |        |

ねらい

- (1)日頃の教育実践から課題を見つけ、その課題に対する新たな考え方や解決策を見出し、ふたたび現場で実践するという「教師の学びのサイクル」を確立する。
- (2)課題の発見や新たな考え方、解決策の構想に向けて、現代的な教育課題（インクルーシブ教育、多文化共生教育、持続可能な開発のための教育）の視点を学ぶ。

場所 兵庫教育大学（〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1）

日程

| 月 日                                        | 内 容                                                                                                                                  | 実施方法（会場）                     |
|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 8/8<br>(金)<br>9:30～<br>16:00<br>(途中昼休み1時間) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育実践の振り返り</li> <li>・「教師の学びのサイクル」の確立に向けて</li> </ul> 兵庫教育大学<br>先端教職課程カリキュラム開発センター<br>准教授 神田 貴司 | 対面型の講義・演習<br>(兵庫教育大学加東キャンパス) |

#### 《 受講の申込について 》

- ※ この研修は、兵庫教育大学が研修プログラムとして25名を募集し、実施する研修です。
- ※ 中堅研の割り当て募集定員を超えて申し込みがあった場合は、受講できないこともあります。その場合は、県立総合教育センターより連絡します。

#### 《 講義・演習等について 》

- ※ 受付開始：9:00 講義開始：9:30 講義終了：16:00（昼休憩1時間）
- ※ 実施場所：兵庫教育大学加東キャンパス  
共通講義棟 3F「イノベーション・コモンズ」（実施教室前にて受付）
- ※ 持参物：昼食（食堂の使用可）、飲み物、筆記具
- ※ 大学構内に車で入構できます。入構証と駐車場、構内の地図は後日送付します。
- ※ 特別警報発表等非常時は県立総合教育センターと兵庫教育大学の取扱規定により研修を中止する場合があります。研修を中止する場合は、県立総合教育センター高校教育研修課の中堅教諭等資質向上研修のWebサイトでお知らせします。

|                   |            |
|-------------------|------------|
| 令和7年度 中堅教諭等資質向上研修 | 県立総合教育センター |
| 教育課題研修            |            |

場所 県立総合教育センター（加東市山国 2006-107）

※講座内容については『令和7年度 教職員研修のしおり』を参照してください。

| 月 日                            | 教職員研修 選択研修 講座名                                 | 講 師                                                                                |
|--------------------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 7/10<br>(木)                    | 教職員研修 選択研修【ⅢA1101】<br>学校における危機管理講座             | 尼崎駅前法律事務所<br>弁護士 曾我 智史                                                             |
| 7/8<br>(火)                     | 教職員研修 選択研修【ⅢB1303】<br>学校組織活性化における教員の在り方講座      | 立教大学<br>教 授 石 川 淳                                                                  |
| 7/30<br>(水)                    | 教職員研修 選択研修【ⅢC1323】<br>(高)生徒の探究的な学びを実現する授業づくり講座 | 東京大学<br>教 授 佐藤 浩章                                                                  |
| 7/3<br>(木)<br>～<br>7/16<br>(水) | 教職員研修 選択研修【ⅢD1501】<br>子どもを育てる生徒指導講座（VOD 研修）    | 関西外国語大学<br>教 授 新 井 肇<br>神戸親和大学<br>教 授 松 本 剛<br>兵庫教育大学大学院<br>教 授 秋光 恵子<br>教 授 井澤 信三 |
| 7/22<br>(火)                    | 教職員研修 選択研修【ⅢD1502】<br>いじめを生まない学級づくり講座          | 兵庫教育大学大学院<br>教 授 秋光 恵子                                                             |
| 8/20<br>(水)                    | 教職員研修 選択研修【ⅢD1503】<br>発達障害の可能性のある児童生徒といじめ問題講座  | 兵庫教育大学大学院<br>教 授 井澤 信三                                                             |
| 7/7<br>(月)                     | 教職員研修 選択研修【ⅢD1504】<br>不登校傾向のある児童生徒への理解と支援講座    | 兵庫教育大学大学院<br>教 授 遠藤 裕乃                                                             |
| 10/23<br>(木)                   | 教職員研修 選択研修【ⅢD1505】<br>不登校児童生徒支援と困難課題対応的の生徒指導講座 | 神戸親和大学<br>教 授 松 本 剛                                                                |
| 8/8<br>(金)                     | 教職員研修 選択研修【ⅢD1506】<br>児童生徒への自殺予防教育講座           | 関西外国語大学<br>教 授 新 井 肇                                                               |
| 11/17<br>(月)                   | 教職員研修 選択研修【ⅢD1507】<br>被虐待児童生徒への理解と支援講座         | 神戸親和大学<br>教 授 大 島 剛<br>太子町教育委員会<br>スクールソーシャルワーカー<br>三浦 知子                          |
| 6/23<br>(月)                    | 教職員研修 選択研修【ⅢE1301】<br>(高)キャリア教育推進講座            | 文部科学省初等中等教育局教育課程課<br>教科調査官<br>東北福祉大学<br>教 授 長 田 徹                                  |
| 11/6<br>(木)                    | 教職員研修 選択研修【ⅢE1102】<br>人権教育講座                   | 県立総合教育センター指導主事                                                                     |
| 7/8<br>(火)                     | 教職員研修 選択研修【ⅢE1103】<br>震災に学ぶ防災教育講座              | 県立総合教育センター指導主事                                                                     |

| 月 日                             | 教職員研修 選択研修 講座名                                                       | 講 師                       |
|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 10/16<br>(木)                    | 教職員研修 選択研修【ⅢE1104】<br>演劇で学ぶコミュニケーション能力育成講座<br>※10/16 は芸術文化観光専門職大学で実施 | 芸術文化観光専門職大学<br>学 長 平田 オリザ |
| 1 /22<br>(木)                    |                                                                      |                           |
| 10/23<br>(木)                    | ★教職員研修 選択研修【ⅢF1401】<br>教員のための ICT 基礎講座                               | 県立総合教育センター 指導主事           |
| 9 /11<br>(木)                    | ★教職員研修 選択研修【ⅢF1402】<br>先端技術体験講座 - 3D プリンタ・ドローン・VR ゴーグル-              | 県立総合教育センター 指導主事           |
| 10/ 2<br>(木)                    |                                                                      |                           |
| 11/ 6<br>(木)                    | ★教職員研修 選択研修【ⅢF1403】<br>先端技術活用講座 -STEAM 教育の推進 (3D プリンタ) -             | 県立総合教育センター 指導主事           |
| 11/13<br>(木)                    | ★教職員研修 選択研修【ⅢF1404】<br>先端技術活用講座 -STEAM 教育の推進 (ドローン) -                | 県立総合教育センター 指導主事           |
| 11/20<br>(木)                    | ★教職員研修 選択研修【ⅢF1405】<br>先端技術活用講座 -STEAM 教育の推進 (VR ゴーグル) -             | 県立総合教育センター 指導主事           |
| 7 /17<br>(木)                    | ★教職員研修 選択研修【ⅢF1406】<br>生成 AI の利活用講座                                  | 県立総合教育センター 指導主事           |
| 6 /20<br>(金)                    | ★教職員研修 選択研修【ⅢF1407】<br>情報モラル教育講座                                     | 県立総合教育センター 指導主事           |
| 6 /12<br>(木)                    | ★教職員研修 選択研修【ⅢF1408】<br>情報セキュリティ講座                                    | 県立総合教育センター 指導主事           |
| 9 /25<br>(木)                    | ★教職員研修 選択研修【ⅢF1409】<br>メディア・リテラシー教育講座                                | 神戸新聞社 NIE・NIB 推進部         |
| 7 / 3<br>(木)                    | ★教職員研修 選択研修【ⅢF1410】<br>Google Workspace 基礎講座                         | 県立総合教育センター 指導主事           |
| 7 /29<br>(火)                    | ★教職員研修 選択研修【ⅢF1411】<br>Google Workspace 実践講座                         | 県立総合教育センター 指導主事           |
| 12/ 4<br>(木)                    |                                                                      |                           |
| 7 /10<br>(木)                    | ★教職員研修 選択研修【ⅢF1412】<br>Office365 基礎講座                                | 県立総合教育センター 指導主事           |
| 8 / 5<br>(火)                    | ★教職員研修 選択研修【ⅢF1413】<br>Office365 実践講座                                | 県立総合教育センター 指導主事           |
| 12/11<br>(木)                    |                                                                      |                           |
| 1/16<br>(金)<br>～<br>1/30<br>(金) | 教職員研修 選択研修【ⅢF1414】<br>表計算ソフト活用講座 (VOD 研修)                            | 県立総合教育センター 指導主事           |
| 10/24<br>(金)                    | 教職員研修 選択研修【ⅢG1201】<br>障害のある子どもをもつ保護者理解講座                             | 神戸大学大学院<br>准教授 山根 隆宏      |

| 月 日            | 教職員研修 選択研修 講座名                                        | 講 師                                                  |
|----------------|-------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 7 / 16<br>(水)  | 教職員研修 選択研修【ⅢG1202】<br>特別支援教育の基礎理解講座                   | 県立総合教育センター 指導主事                                      |
| 9 / 3<br>(水)   | 教職員研修 選択研修【ⅢG1203】<br>インクルーシブ教育システムと合理的配慮の基礎講座        | 立命館大学<br>教 授 村田 観弥                                   |
| 6 / 11<br>(水)  | 教職員研修 選択研修【ⅢG1204】<br>特別支援教育における効果的な ICT 活用講座 A (基礎編) | 兵庫教育大学<br>准教授 小川 修史                                  |
| 12 / 1<br>(月)  | 教職員研修 選択研修【ⅢG1205】<br>特別支援教育における効果的な ICT 活用講座 B (応用編) | 兵庫教育大学<br>准教授 小川 修史                                  |
| 10 / 10<br>(金) | 教職員研修 選択研修【ⅢG1206】<br>行動上の問題への対応講座                    | 高知大学<br>講 師 宮田 賢吾                                    |
| 6 / 4<br>(水)   | 教職員研修 選択研修【ⅢG1207】<br>強度行動障害のある児童生徒への対応講座             | 兵庫教育大学大学院<br>教 授 岡村 章司                               |
| 7 / 23<br>(水)  | 教職員研修 選択研修【ⅢG1208】<br>特別支援教育の視点を取り入れた音楽指導講座           | ヴァイオリニスト・社会教育士<br>生涯学習開発財団認定ワークショップ<br>プロデザイナー 南條 由起 |
| 10 / 9<br>(木)  | 教職員研修 選択研修【ⅢG1209】<br>特別支援教育の視点を取り入れた図画工作・美術指導講座      | 神戸芸術工科大学<br>特任教授 大槻 和浩                               |
| 9 / 26<br>(金)  | 教職員研修 選択研修【ⅢG1210】<br>ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくり講座       | 熊本大学<br>教 授 菊池 哲平                                    |
| 1 / 15<br>(木)  |                                                       | 県立総合教育センター 指導主事                                      |
| 9 / 4<br>(木)   | 教職員研修 選択研修【ⅢG1211】<br>特別支援教育の視点を取り入れた体育指導講座           | 大阪体育大学<br>准教授 曾根 裕二                                  |
| 10 / 2<br>(木)  | 教職員研修 選択研修【ⅢG1212】<br>障害のある子どものための性教育講座               | 神戸親和大学<br>講 師 瀬戸山 悠                                  |
| 8 / 8<br>(金)   | 教職員研修 選択研修【ⅢG1213】<br>発達障害のある子どもの就労支援講座               | 国立特別支援教育総合研究所発達障害<br>教育推進センター<br>主任研究員 榎本 容子         |

※上記講座から、教育課題研修として1つの講座を選択し、『令和7年度 教職員研修のしおり』の p79 を参照し、各自で受講申込を行ってください。また、開催要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約1か月前に掲載予定です。

※講座名の欄に★マークのある講座では、e ラーニングを活用した事前研修が実施されます。詳細は、『令和7年度 教職員研修のしおり』の p78 を確認してください。

## 高等学校中堅教諭等資質向上研修の実施に係る非常時の対応について

台風等による気象警報の発表及び非常災害等非常事態が発生した場合、受講者の研修への参加については、下記のとおりとします。

### 記

- 1 研修実施日の午前6時に、特別警報（大雨、暴風、暴風雪、大雪等）や特別警報に位置づけられる大津波警報等が、兵庫県内に発表されている場合は研修を中止します。  
※特別警報および特別警報に位置づける警報等については、気象庁の特別警報に関する Web サイトを御覧ください。
- 2 研修実施日の午前6時に、警報（大雨、洪水、暴風、津波、大雪等）が、研修会場所在地又は在勤地に発表されている場合の受講については、**所属長の指示**に従ってください。
- 3 その他、感染症（インフルエンザ等）の流行や公共交通機関の計画運休等、非常事態が発生したときも、所属長の指示に従ってください。
- 4 所属長の指示により、受講を取り止めることとなった場合、管理職を通じて研修担当課に連絡するとともに欠席等の手続きをしてください。



| 受講番号 | 勤務校  | 名前 |
|------|------|----|
|      | 高等学校 |    |

研修期間：2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日